

第二次霧島市総合計画後期基本計画等  
策定に係る  
ワークショップ実施結果

令和4年9月

霧島市 企画政策課



## < 目 次 >

### **I. 開催概要**

1. 開催の目的 ..... 1
2. 開催状況 ..... 1
3. ワークショップの手法 ..... 2

### **II. 開催結果**

1. 第1回ワークショップ ..... 3
2. 第2回ワークショップ ..... 43

### **<参考資料>**

- 事前配布資料 ..... 73

# I. 開催概要

## 1. 開催の目的

第二次霧島市総合計画後期基本計画を策定するにあたり、市民から意見を収集し、具体的な施策の検討の参考とすることを目的に市民参画ワークショップ「KIRISHIMA みらいトーク」を開催した。

## 2. 開催状況

「KIRISHIMA みらいトーク」は令和4年5、6月にかけて計2回開催し、霧島市在住者や市内で勤務している人20代～80代の延べ52人が参加した。

株式会社すごいたね 代表取締役・柴田玄一郎氏のファシリテートのもと実施し、YouTubeによるライブ配信やグラフィックレコーディングも行った。

### <開催状況>

	日時	場所	参加者
第1回	令和4年5月29日(日) 13:30~16:00	国分シビックセン	29人
第2回	令和4年6月25日(土) 13:30~16:00	ター多目的ホール	23人

### <YouTube ライブ配信の様子>



### 3. ワークショップの手法

ワークショップは、「ブレインライティング」の手法で行った。

グループごとに市の主な課題（テーマ）について、自由にアイデアを出し合い、その中から優れた・楽しいアイデアを選んで発表し、発表されたアイデアは、グラフィックレコーディングでまとめた。

ブレインライティングの具体的な手法は以下のとおり。

#### ブレインライティング

下記3点が実現できます。

☆ 全員が参加できる。 ☆ 全員がアイデアを発信し、記録できる。 ☆ たくさんのアイデアが集まる。

1 4～6人1組になります。



2 全員にシートを配り、1人目のテーマにアイデアを書きます。

ブレインライティング

テーマ:	
1	
2	
3	
4	

3 シートを隣の人に回します。1人目のアイデアに関連するアイデアを書きます。全てのマスが埋まるまで回覧します。



4 チーム内で出てきたアイデアを共有し、気づいたことやこれから取り組めそうなことをまとめます。まとめたアイデアを各チームで発表します。グラフィックレコーディングでわかりやすくします。

ブレインストーミングの発展版 **ブレインライティング**

参考サイト

- <https://media.mar-cari.jp/article/detail/1164>
- <https://ideaplant.jp/products/bws2/>



#### グラフィックレコーディングとは？

ワークショップ等の内容を、文字とイラストを使って記録する方法のこと。参加者がリアルタイムで記録を共有できるよう、大きなホワイトボードや模造紙に描かれるスタイルが多い。話の内容を俯瞰的、直観的にとらえることができ、議論の活発化に繋がるとされている。

## II. 開催結果

### 1. 第1回ワークショップ

第二次霧島市総合計画後期基本計画を策定するにあたり、市民から意見を収集し、具体的な施策の検討の参考とすることを目的に市民参画ワークショップ「KIRISHIMA みらいトーク」を開催した。

#### (1) 日時・場所

■日 時：令和4年5月29日（日）13：30～16：00

■場 所：国分シビックセンター多目的ホール

#### (2) 会次第・テーマ

##### 1) 会次第

- ①課長あいさつ（霧島市企画政策課長）
- ②アイスブレイク
- ③興味につながるワンポイント
- ④テーマ決め
- ⑤ワークショップ（1回目）
- ⑥気分転換（船長さんゲーム）
- ⑦ワークショップ（2回目）
- ⑧感じたことのシェア
- ⑨まとめ
- ⑩事務連絡・閉会

##### 2) テーマ

①商工業が元気になる	⑥高齢者が住み慣れた地域で暮らし続ける
②農林水産業が元気になる	⑦スポーツや芸術を楽しむ
③安心安全なまちになる	⑧地域が元気になる
④健康に暮らし続ける	⑨誰もが自分らしく暮らすことができる
⑤安心して子育てができる	⑩若者が住みたくなるまち

### (3) 参加者

霧島市在住者や市内で勤務している人 29 人

#### <開催の様子>



#### (4) ワークショップで出たアイデア

	テーマ
A グループ (1回目)	安心安全なまちになる

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・共働き世帯が増えている中、災害時の対応としてこども版 BCP をつくったり、こども食堂を支援したりして、こどもだけで色々やってみる。
- ・電線や電柱を地中化したうえで、各家庭で太陽光発電などをする。その際、市から補助があればいい。
- ・景観を良くするため、こどもたちに街灯のデザインを募集する。各家庭でデザインしたりコンテストを開催したりすると盛り上がる。
- ・防犯面では、こども 110 番の家はいつでも家に居なければならないので、見直しが必要。また、こどもたちへの周知の徹底や、入りづらさを無くすためにその家でハロウィン等をして親しみを持たせる。

まとめ			
	★の数	ブレインライティングで★が多いアイデア	左のアイデアについて、 一人一人「みんな(※)ができること」 ※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	6	【災害】 こども版BCP→大人がいない時にどうする？	
2	5	【景観】 電線・電柱を地下へ	●電線の地中化 各家庭で発電！（太陽、水路など、補助）
3	5	【支援】 こども食堂→フードロスとの共働	●こども版BCP、こども食堂 こどもだけで色々やってみる！ ・避難訓練 ・キャンパー材料ももらってくる
4	5	【景観】 子どもたちによる街灯のデザイン募集	●街灯デザイン ・自分達で置いてみる。作って見る。 ・各家庭でデザインしてみる。 ・コンテストとかで盛り上がる！！
5	5	【防犯】 子供110番の家の見直し・宣伝	●子供110番の家の見直し いつでもいる必要がある！ これを知らない！子供への周知とか 入りづらさ→ハロウィンとか、その家で！



ブレインライティングで★がついたアイデア

項目	数	項目	数	項目	数	項目	数
電柱をなくし歩きやすく	7	インフラの見直し	3	AEDの設置数を増やす	1	こどもしょうぼうたい	1
子ども版のBCP 親や大人がいないとき ※聞いたことがない	6	中山間地での移動手段の維持	3	(災害時に対して)BCP施策の共有	1	班分けして学校早く帰る	1
子ども食堂 フードロスとの共働	5	ヘルプカードの活用	3	ソフト食や治療食を食べて試せる場	1	鹿児島空港の最新消防車を小学校に出張させ消防訓練	1
(不審者対策)おさんぽパトロール	5	(AEDの使い方)身近なAED研修	2	こどもがお店に自分で行ける	1	子ども110ぼんの増設	1
子どもたちからデザイン募集(街灯)	5	BCP対策	2	わかりやすくする(交通機関)	1	子ども110番の人たちと知り合いになる	1
大規模災害時の他地域との連携	5	ご近所付き合いをしっかりと!	2	(不審者対策)民間パトロール	1		
110番の家の見直し宣伝	5	自治会か別の組織か再考	2	(不審者対策)みんなで時間きめてパトロール	1		
電線を地下へ 歩道や自転車ごとおりやすく	5	こども110ぼんの増設	2	個性を伸ばす学童	1		
市民がパトロール役となれるように仕組みを作る	5	消防団のことを知る機会も作る	2	(災害に対応した)つよいコンクリを使う	1		
自治会のあり方を根本から考え直す 個人情報のあり方も再考する	4	道幅を広くする	2	正確な情報を発信	1		
地域包括	4	草まみれのつつじを木だけにしたら?	2	高齢者の避難	1		
ランニングしている人 運転する人 待ちを見張っていることをしめす服やステッカー配布(上記などで見守り隊を結成)	4	ヘルプカードのことを伝える意味を伝える	2	110ぼんの家と知り合いになる(祭り)?	1		

ブレインライティングで★がつかなかったアイデア

避難所情報を適格に！	(渋滞解消に向けた)道路工事	(街灯は)LEDを使う	命が一番	消防署で勉強
(避難所情報を)自分からの発信！(知っていることを発信)	公共交通機関の充実	環境面を忘れない SDGsの意識醸成	助けてくれる人がたくさんいる	(消防に関して)体験する機会
(避難所情報を)上位下達	不審者のいないまち	災害に強い	みんなで助け合う気持ちを持つ	自転車専用道路 ※子どもも自転車に乗れる
(子ども版のBCPの)やり方を勉強する	(不審者がいないか)監視の目が町の中にたくさんある	強い家、避難所(建物)	(自治会か別の組織が再考し)役割・目的をはっきりさせる	(自転車専用道路の)工事を行う
AEDの使い方を市民へ広報	不審者を減らす施策	適格な防災マップの検討・見極め	不審者	(自転車専用道路工事は)霧島市内の事業者を使う
(AEDの使い方の)勉強会	高齢者にもやさしい交通	セーフティーネット	子ども110番を増やす	子供が全部横断歩道使える
(AEDの使い方を)学校で・学童で教えてもらいたい ※あるけど使えない	高齢者の住みやすい住居	(セーフティーネットがあれば)ご近所と友達になりやすい	あいさつする 知り合いになる	横断歩道を増やす
(AEDを)もっと簡単に安全にできるようにする	バリアフリーの家・建物	(ご近所と友達になるために)たまにバーベキューする	(子ども110番は)本当にその人が担当でいいかよく考える	国体とかぶせて歩道も整備
食べられない人への対応	(バリアフリーの家・建物は)お金がかかるから補助	情報に洗脳されない	不審者がいない	救急車がもっと気軽に使える
食事形態の充実 (ソフト食・治療食など)	法規を見直し、高齢者にやさしい家を増やす	予期せぬ大豪雨	見守り隊	(救急車の)台数増やす
(ソフト食・治療食などを)給食で出してみる	街灯がある	(予期せぬ大豪雨は)どんなふう困るのか？	(見守り隊の)チームをつくる	救急車のステッカーを作成、交付する
渋滞解消	デザインが素敵な街灯	(予期せぬ大豪雨に対するBCP対策として)家が流されないようにする	年齢に関係なく(見守り隊の)チームをつくる	不審者いないか見守り
パトロール増やす				

	テーマ
B グループ (1回目)	農林水産業が元気になる

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・観光プランに農業体験を組み込み、農産物の生育過程を SNS 等で公開しながら、収穫時期にまた来てもらえるような仕組みをつくる。
- ・国分中央高校ビジネス情報科でインフルエンサーの教育をして、営業力を強化する。
- ・小中学生が職業体験を通じて販売流通システムや稼げる農業の仕組みを学ぶ。
- ・自然環境に恵まれた霧島市の特性を生かして、おてつたび（お手伝いをしながら旅をする）を活用する。
- ・このワークショップを小中学生でやってみる。
- ・ドローンや自動運転などスマート農業を推進する。

まとめ			
	★の数	ブレインライティングで ★が多いアイデア	左のアイデアについて、 一人一人「みんな(※)ができること」 ※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	6	【情報発信】 (農産物の)制作(生育)プロセスの公開	
2	6	【営業力強化】 中央高校のビジネス科でインフルエンサーの教育	●海山川豊かな自然環境に恵まれた霧島市の地の利を活かして
3	5	【販売力強化】 小中学生でもできる(学生がつくる)販売流通システム	→1, 観光プランに農業体験を入れるだけでなくその過程をその体験者にSNS等で配信していく、またその収穫の時期に来てもらう →2.おてつたび(おてつだいしながら旅する)
4	5	【観光地を活かして】 観光プランに農業体験を入れる	→3.職業体験しながら小中学生も稼げる仕組みを学ぶ ※このワークショップを小中学生でやる
5	5	【スマート農業】 ドローン、自動運転	

ブレインライティングで★がついたアイデア					
項目	数	項目	数	項目	数
ブランディングコピーをつくる。制作プロセスのSNS公開	6	学校の授業に取り入れる	3	廃校を使ったカフェ	1
小中学生でもできる販売流通システム	5	(農業の)フリースクール	3	(海外への情報発信) インスタSNS発信 子ども家庭科の授業(小～高) 職場体験	1
(市内のさまざまな世代での)交流の場作り(まぜこぜ)	4	公園、公民館、市役所、オンラインテーマは農業でいい?	2	めずらしい食品野菜(オシャレな)などの農業を	1
世界に通じるジャパニーズブランド	4	(住居や働く場所を提供するために) 廃校活用 コワーキングスペース 空き家リノベーション	2	小中学生向けに農業を身近にさせる	1
ネット販売	4	収穫祭	2	(子ども、不登校、障がいのある子)プラス高齢者 共同で体験	1
お試し体験移住 オンライン見学	4	(高級ブランド等)流行の先読み	2	農業ライブ配信 農作業生産過程	1
月額(年額)で使用できる耕地	3	パッケージにも興味を引くものを考える	2	空き家と農地の貸し出し	1

ブレインライティングで★がつかないアイデア

労働協働	農業の楽しさを伝える)	ITに強い人	中央高校ビジネス科にアイデアを出してもらう	(気軽に取り組めるように)副業(を活用)
子ども・働く世帯、高齢者、障がいのある方(と協働する)	農業のイメージUP!	SNSの活用	食料自給率を上げる	(年金+αの副収入として)高齢者の役割、生きがい(を感じてもら)
農業	若者の発想(で農業のイメージUPに取り組む)	中央高校(ビジネス科?)の学生にアイデアをもらう	無農薬(で安心・安全な農作物を生産する)	子どもの就業体験とかける
農林水産をテーマにした(交流の場づくり)	(農業のイメージUPをするための)集まり広げる	中央高校で授業、キャリア教育、外部人材登用 小・中学生でもできそう	食堂・ホテルでの提供	観光
休耕地地利用	ブランディング 値段アップ(安いので…)	特産品のブランド化	ITの導入による効率化	観光マップ作成
居住	高級ブランドの作物があっていい!	地元の得意分野(を伸ばす)	IT技術の取得環境の整備	自給率を上げる必要性を感じる
居住の場所を発信	ITの活用	海、山、川、体験、食	(ドローンや農機の自動運転等)効率化	自給率の高いまちを観光のブランドにする
海外へ	農業体験	インスタ・ツイッター活用	収穫後のネット販売	自然
食	(農業体験の)受け入れ農家	若者への情報提供	学生とコラボ	・サマースクール(で自然との触れ合い) ・VRで色んなところ、他の地域をしてみる
飲食業とコラボ	居住	SNSでの魅力ある発信	インスタ・SNSで発信	グーグルマップでその土地の作物を農業体験
子ども(学生)に農業体験	アプリで(お試し体験・移住を)見学・マッチング	フェイスブック ツイッター	定年後の人に体験	体験
子ども・不登校・障がいのある子(に農業を身近にさせる)	ネット販売の流通(を増やす)	影響力のある人(を活用)	(定年後の人が)気軽に取り組めるようにしたい…	手元でできる農林水産業
プランター栽培(手元でできる農林水産業)				

	テーマ
Cグループ (1回目)	安心して子育てができる

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・子育て環境を充実させるために、市が民間のベビーシッター会社の誘致や起業を支援し、市民は外部（民間や近所）の協力を得ながら子育てをする。
- ・子育てに関して頼りやすい雰囲気づくりや教育をする。
- ・所得アップを目指し、子育てしながら稼ぐ方法を考える
- ・子育てに関する相談場所としてコミュニティスペースを多くつくる（使用料無料）。
- ・男女・パートナーとの出会いの場をつくり、相談しやすい「おせっかいさん」的な人がいたらいい。
- ・教育面ではオンライン授業を充実させる。インフラ整備（Wi-Fi）に向けて税収を増やす。

まとめ			
	★の数	ブレインライティングで★が多いアイデア	左のアイデアについて、一人一人「みんな(※)ができること」 ※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	5	【子育て環境】 民間のベビーシッター会社の誘致や起業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部(民間・近所)の協力を得る</li> <li>●頼りやすい雰囲気作り・教育</li> <li>●大人への再教育</li> <li>●インフラ(Wi-Fi)整備へ向けた税収アップ</li> </ul>
2	5	【所得アップ】 稼ぐ方法を考える(税収UP)	
3	5	【相談できる場所】 コミュニティスペースを多く作る(使用料無料)	
4	5	【出会いの場づくり】 男女・パートナーとの出会いの場 相談しやすい「おせっかいさん」的な人	
5	4	【子どもの就学環境】 オンライン授業の充実	

ブレインライティングで★がついたアイデア					
項目	数	項目	数	項目	数
コミュニティスペースを多くつくり、使用料を無料にする	5	他年代の方と交流できる場をつくる	3	補助するために資金を調達するためにふるさと納税などに力を入れる	2
男女・パートナーと出会い、深めるまでの相談しやすい「おせっかいさん」的な人	5	ラジバンダリ、(上の世代から)何を知りたいのか、知る必要がある	3	子供の医療費無料	2
(18歳まで医療費無償実現のために)稼ぐ方法を考える(税收アップ)	5	市内の人材で得意分野を教え合う	3	「自治会」の新しいカタチは?	1
民間ベビーシッター会社の誘致や起業支援	5	(18歳まで医療費無償実現のために)市でインフラ整備	3	学校を柔軟に	1
(学校以外の教育の機会を提供するために)まち全体が教えあえたらいい	4	(学校教育に)外部人材の投入	3	子供が楽しめるように大人がサポート	1
多世代が集まる交流スペースの設置	4	(外部人材の活用を)市だけに限定せず、共通化	3	(シッターの仕組みなど情報共有できる)アプリやソフトの開発	1
オンライン授業の充実	4	(子育て世代の交流の場として)ショッピングモールを活用する	3		
(シッターの仕組みなど)情報を共有できるインフラ	4	(子供達に)海や川などで泳ぎ方を教えるワークショップ	2		
(待機児童の解消に向けて)似た人どうして集まる	4	年代別に利用できる公園	2		
(子供達に)自分の命を守る知識と体験	3	学童の充実	2		

ブレインライティングで★がつかなかったアイデア

子どもたちは皆泳げるほうがいい	自治会参加のハードルを下げる(自治会費など)	教育の充実	市からの補助(ベビーシッター代)
学校で泳ぎ方を教える(授業以外で)	場所に縛られない(「自治会」の新しいカタチ)	子どもに優しいはみんなに優しい(遊び場の確保と安全性のために)	市からの補助(子どもの医療費)
(自分の命を守る知識を得るため)学習する場が必要	相談できる人を増やす	子どもに優しいってどういうこと?	子供の健康相談窓口をつくる
(自分の命を守る学びを)提供できる大人を紹介	相談窓口の設置(専門家の確保)	(子どもを)預かってもらえる人がいる	気軽に相談できる人いる?(親・先生以外)
(子どもたちは皆)自転車も(乗れたらいい)	「居場所」は一つでも多い方がいい	(子どもを)預かってくれる人を調達する	子育て世帯の交流の場をつくる
年上と年下の交流(自転車の乗り方を教える)	異性との出会いのきっかけを増やす	待機児童の解消	どこかに集まる(子育て世帯の交流の場)
教えたり教えられたり(多世代の方が交流できる場をつくる)	若い男女が集まりやすい施設をつくる(カフェ・バー)	(待機児童の解消に向けて)地域で担えたら(いい)	(子育て世帯の交流の場として)今ある場も活かしてたくさん増えるといいね
(多世代の方が交流できる場として)子どもも含めたW.S	市内のインフルエンサーをおく	近所の連携の強化	市が頼れる人を作る
学校以外での教育の機会提供	子育てにかかる費用の軽減	(18歳まで医療費が無料になると)ありがたい	情報発信に力を入れる
(市内の人材で得意分野を教えられる)エキスパートの一覧化・共有	18才まで医療費を無料で実施!!	(18歳まで医療費が無料)やるしかない!	みんなで笑える場所がほしい
近所の人との繋がりを深める	(医療費無料は後日申請ではなく)窓口で無料にする	(18歳まで医療費無料の実現に向けて)大人が負担	(みんなで笑える場所を)市役所内に作る
自治会への加入や行事への参加	(医療費を無料にするためには)情報の統合が必要	ベビーシッター代無料	市役所を来やすい場所にすする
サークル活動の充実	声を発する手段、場、相手の存在が必要	相談をまとめる人が必要	市の公式LINE(を活用)



	テーマ
D グループ (1回目)	健康に暮らし続ける

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・歩いた分だけポイントが付くなど健康ポイント制度をつくり、“健康優良おじいちゃん・おばあちゃん”など褒めたたえる場をつくることで、体を動かす機会を増やす。
- ・学生や薬局の従業員、看護師など知見のある方が最初の相談窓口になるようなホームドクター（かかりつけ医）を一人ひとり持ち、相談料を払えば幅広く気軽に相談できるようにする。
- ・家庭の悩みなどをただ話を聞いてほしいというニーズに対し、メンター制度（気軽に相談できる人）をつくり、心のケアをする。
- ・食育の面で、霧島市ならではの農畜産物について高齢者の方から学び、公園など公共の場に牛・豚・鶏の飼育スペースを設けて育ててみる。高齢者の方からアドバイスをもらいながらすることで、交流の場になる。
- ・たくさん歩いたり運動したりするために、スポンサーと契約し、かっこいい・かわいい霧島市オリジナルウェアを制作する。そのウェアを着たスポーツ大会を開催する。

まとめ			
	★の数	ブレインライティングで★が多いアイデア	左のアイデアについて、 一人一人「みんな(※)ができること」 ※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	5	【健康ポイント】 健康優良おじいちゃんおばあちゃん	
2	4	【身体】 ホームドクターを持つ(かかりつけ医)	●学生とか薬局とか看護師とか知見のある人を最初の相談窓口 →幅広く気軽に相談できそう →相談料を支払う
3	4	【心】 メンター制度	●牛とか豚とか野菜と公共の場でまずは育ててみる →お年寄りからのアドバイス期待・交流の場
4	4	【運動】 霧島オリジナルウェア(スポンサーと)→大会	●助産師 →ただ話を聞いてほしいというニーズ 本来は家族の問題全般をケアする人だった
5	3	【食育】 地元ならではの農産物の話 学ぶ伝える	

ブレインライティングで★がついたアイデア							
項目	数	項目	数	項目	数	項目	数
最強の80代とか最強の保育士さんとか褒め称える場をつくる	5	(給食時に生産者の話を聞く)特に地元ならではの農産物の話を聞いてそれを人に伝える	3	農業(無農薬、無添加)広める	2	給食時に生産者の話を聞く	1
ホームドクターとのマッチング	5	(耕作放棄地の)マッチングしたらお金ももらえる。地域の人にも応援してもらえる	3	かかりつけ医をみんな持つ	2	耕作放棄地の有効活用(マッチング)	1
お医者さんが来てくれる会に行ける医者	5	(公園に畜産等の飼育スペースを設けて)一番上手に育てた人を表彰する。マイスター制度をつくる。	3	移動式の猫フェが霧島市内を定期巡回している。	2	公園などに(鶏豚牛の)飼育スペースを設ける	1
かかりつけ医を一人一人もつ	4	地域食堂をはじめ、そこでイベントをする。	2	猫カフェ含め集まる場をつくる(心の健康、誰かと会う場、話す場ができれば。平日昼夜、土日等)	2	(霧島市の)オリジナル商品を使って練習する場合、体育館の利用券タダ	1
メンター(相談できる人)をつくる	4	ZOOMで診てもらえる	2	大人たちも(猫カフェの)お世話体験できるようにする	2	(たくさん歩くために)スポーツウェアが可愛い・かっこいいのを買う	1
(地元企業にスポンサーになってもらいスポーツ用品等)オリジナル商品を作る	4	町内会の中の班対抗(運動会)。その日は全企業強制的に休みで賞金がすごい!	2	献立のシェア(健康的な料理のレシピを共有する)	1	スポーツウェアをみんなに見せる場をつくる	1
(健康アプリの)ポイントは主に霧島市のお店で有効	4	市と市が対決して健康市町を決める	2	(地域食堂やイベントの場として)公民館を活用	1	(情報に振り回されないように)テレビを見ない・置かない	1
スポンサーと霧島オリジナルウェアを作る	4	(各人に合わせた体に良い)おすすめメニューが宅配される	2	自分の不調に気づく仕組み	1	オーガニック給食(を提供し)食に対する知識をつける	1
たまにみんなで食事会をする	3	データ化していつでも自分の(健康)状態が見れる	2	You Tubeを観ながらセルフチェック	1		
ネットで診てもらえる、(ネット)使えない人は訪問してくれる	3	(面白いことを見つけるため)発表の場を設ける	2	不調に気づける人が周りにいるような環境を作ってあげる	1		
ドローンで(体に良い食事が)宅配される。ついでに見守りをしてもらう	3	(健康情報に関する)霧島ポッドキャストを作る	2	町単位世代別に成績が見えるようにする(運動能力を競う)	1		
(面白いことを見つけるため)一昔まえのテレフォンショッキング的な前の人からの紹介をつなげていく	3	FM霧島で健康情報をゲット	2	(面白いことを見つけるため)MCTでてつこの部屋的な番組をする。	1		

ブレインライティングで★がつかなかったアイデア

互いに見守れる仕組み	宅配した食事のカロリーや成分が見られる(管理される)	SNSを使ってみんなが見られるような工夫をする	スポーツ用品店やジムなどをスポンサーにする	(健康セミナーを)場合によっては自宅訪問(してもらう)
強制的に隣の家で晩ごはんを食べる日をつくる(お互いに)	相談窓口(主に心)	(健康情報に関する霧島ポッドキャストを)流す!	健康ポイント(歩数でもらえる等)	地域の健康度が可視化
(YouTubeで健康セルフチェックをするために)好きな先生、お気に入りの先生をみつける(チャンネル登録)	メンターとの信頼(関係を築き、)長い時間かけて信用してもらう	(地元ならではの農作物の)紙しばい	アプリをつくる(霧島市ポイント)独自クーポンなど	たくさん歩く
病気・怪我をすぐ治せる仕組み	メンターは変更可能にしておく。内容ごとに変えられる	おばあちゃんの昔話「あの頃」の話で学べる	(健康ポイントは)人間ドッグにも使える	スポーツ選手を呼び、より多くの人が来るようにする
救急車までは呼びにくいけど…〇〇なら行ける、診てもらえる仕組みをつくる	面白いことを見つける(自分なりの「笑い」を見つける)	マイナポイントのような探れたて野菜ポイント(貯めて他で使える)を提供しても食べてもらえる	健康で場合、再検査がいらない場合、現金としてキャッシュバック	スポーツ選手に絡めてスポンサーゲット!
(アプリで診てもらえるように)アプリ等使い方指導を設ける	イベントを増やす 芸人を呼ぶ	(野菜)ポイントは自分でも使えるし、子ども食堂に寄付もできる	情報発信(病院)	
予防医学の情報も提供	(面白いことを見つけるための)ケーブルTVと地上波の間の番組	豚・鶏・牛の育て方や餌など、自由に動けるようにする(ストレスをなくす)	予防の相談もできる	
運動の習慣化	体を動かす(運動したり歩いたりダンスしたり)	1人1頭、牛or豚が割り当てられる	保護猫、地域猫カフェ(24時間やってる)癒やしの時間をもつ	
(運動能力を競う大会等で)ポイントで対決	地域で運動会をする	(自分で育てた牛や豚を)食べるか育てるか選択できる(命の大切さ)	地域別対抗 ネコ オブザイヤー	
(運動能力を競う大会等で)一位だった方に賞品がある	地区別、世代別、職場別、対抗戦(運動会)	(自分で育てた牛や豚を)感謝して食べる	健康診断を年1回(受診する)	
食育(健康に寄与する)	(最強の80代、最強の保育士等)勝手に表彰式をあちこちで開催する。 イベントレポートを市のSNSで配信	ウォーキングなど地域のイベントを行う	地域の集会所に(医者が)月1回来てくれる	
カロリーアドバイス	情報に振り回されない(情報量をバランス良くする)	ウォーキングできる所を増やす(景色など) イベント会議(をする)	健康セミナー(を開催する)	

	テーマ
E グループ (1回目)	誰もが自分らしく暮らすことができる

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・子どもが大きくなっても霧島市に住みたいと思えるように、スタートアップ企業の支援をする。
- ・霧島市内で経済を回すことは重要だが、旧市町で一部だけが人気のような気がする。中山間地域は店などがなくなり、高齢者を中心に年々不便になっている。
- ・男女、障がい、国籍などの差別が無くなるように学校教育を見直し、多様な方がいるという当たり前の状況をつくる。
- ・外国人労働者が働きやすいように受入側が言語のサポートや言葉や文化の違いを理解し、知識を身に着ける。

まとめ			
	★の数	ブレインライティングで★が多いアイデア	左のアイデアについて、 一人一人「みんな(※)ができること」 ※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	5	【起業支援】 地元のスタートアップ支援	男女、障害、国籍、中心部／山間／年齢と高齢者 ↓ 教育 ↓ 分散、少人数→地元雇用 ↓ 中学、高校
2	5	【経済】 霧島と言っても一部だけが人気の気がする	
3	4	【discrimination】 差別がなくなる→学校教育見直し インクルーシブ	
4	—	【外国人の労働環境】 外国人労働者 地位向上	
5	—	【中山間地域支援】 中山間地域の高齢者の生活環境	

ブレインライティングで★がついたアイデア

項目	数	項目	数	項目	数
学校教育の見直し	4	母親だけ仕事・家事・子育てをしている気がする。男性の関わり方。	4	学外の人は校則を把握しづらい	2
地元のスタートアップ支援	4	子育て支援が大切	3	共働きでないと給与面など不安がある	2
(観光地の)霧島といっても、一部だけが人気な気がする	4	社会保障の充実・拡大	3	(外国人が生活しやすいように)言語サポート、語学学校など。	1
(高齢者を支援)できる人たちが(支援して)ほしい人に伝えられるといい	4	(学校の)支援組に代わるモノがあるといい	3	地域に役立つ企業のサポート	1
(高齢者の)サポート体制の見える化	4	みんなと一緒に学びながらサポートが必要な部分の支援等できないか	3	同じ内容の仕事であれば同じ賃金にするべき	1
(障がい者が)人に手伝いを気軽に頼める	4	(障がい者の住みやすさについて)学校の授業の中で取り入れる	3		
儲かる作戦をチームとして一緒に考える	4	(外国人労働者の)受け入れ側が面倒がらない、恥ずかしがらない、知識を身に着ける	3		
外国より(観光に関する)インフォメーションが探しにくい。対応は丁寧である。	4	(差別問題について)子供の頃から知る機会があるといい	2		
海外からの移住者の声を集めてみる	4	(障がい者も)一緒に楽しむために何が必要か考えたい	2		
なぜ、その校則が必要なのか大人になったらわからない	4	男女の正規、非正規のみならず障がい者で格差がある	2		

ブレインライティングで★がつかなかったアイデア

差別がなくなる	霧島市内(旧町)全体で経済を回すには？	霧島は鹿児島島の中央に立地し、空港もあるので場所は良い	障がいのある方の住みやすさ	観光案内所等分かりやすいか？
差別について考える場をつくる	性別に関係なく仕事ができる	霧島神宮以外・温泉以外でもなにか	危ないところなどポスターなどを貼って呼びかける	分かりにくい観光案内所を探すところから始まる
(差別をなくすために)ハード面ではバリアフリーの整備や学びなおしをすることで当たり前にする	職場(における)女性の管理職比率を50%にする	学校の支援組って必要なのか？	インフラ整備 自治会の役割とは	(外国人に観光に関する情報を発信するため)SNS(を活用)
障がい者も一緒に楽しめる何か(をやる)	数字(女性の管理職比率)ではない何か。 女性だからできる仕事をつくる	支援組…？ 県・国への訴え	外国人技術労働者	学校 男女役割
(障がい者も一緒に楽しめる)イベントを！一緒に楽しめる、学べることをする	母親としてという概念が強すぎる。 色々な人に甘えられる環境・仕事づくり	高齢者の住みやすさ	言葉の壁、文化の壁	ブラック校則
(障がい者と日常的に接する)当たり前の状況を作る	(農業に産休は無いので)休みがとれるようになればいい	病院の近く(に高齢者は住む)	もっと受け入れる方も言葉や文化の理解が必要では？	髪の毛のゴム、位置、制服は、ルールに従うのは私も苦手でした
外国人が生活しやすい	自治体の税収(=人口)増加の必要性	近くに住めるように支援する(サポート)できる人たちをみつける	来た人を楽しんでもらえる、迎えた人も楽しくなる文化を知って、参加する	世代親を知る 学ぶ機会を学校・職場でつくる
日本人の生活しやすさとは。	企業誘致をすることで雇用も増えて人口も増えないか	外国人の住みやすさ	スマホアプリの活用 多言語対応に	海外の方の受け入れ
日本人といっても、様々な(高齢・貧困)方にとって生活は違う	人口が増えるだけで支援が同じままだと逆戻り？	言葉の壁をどうにか	賃金格差	賃金は低いまま固定(されている)
外国人が生活しやすくなるには日本人の生活のしやすさと同じなのか？	海外の方と知り合う機会がない	言葉を理解できる(交流)スペースをつくる	男女・正規・非正規の格差がある	住環境や食事など制約がないか
外国人・日本人と分ける理由 生活のしやすさを互いに考えるのは難しい	(海外の方と)知り合う機会があるといい	場所に行きやすい環境を整備するといい	行政への働きかけ スタートアップで職場創出	移動手段も(制約がないか)
霧島市内で経済を回す	それ(海外の方と交流する場)が霧島に必要かどうか	高齢者への理解	観光客	外国人だけで住んでいるという差別(交流がない)
そもそも共働きが前提である理由とは。	(母親だけ仕事・家事・子育てをしている気がする)ので 男の関わり方講座・YouTube			

	テーマ
A グループ (2回目)	若者が住みたくなるまち

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・ライフプランとキャリアアップのバランスがとりやすい働き方ができれば住みたくなると思う。すでに市内でワークライフバランスに取り組む会社はあるので周知が必要。
- ・兼業や副業を認めるまちを目指し、ダブルワークを推進する。
- ・大規模店と地元の店が共存できるまちを目指し、地元の良さや素材、アイデアを集めて大規模店とコラボ開発できないか。(子どもから大人までみんなで一緒に考える場があればいい)
- ・起業しやすいまちを目指し、スタートアップ支援をする。子ども向けにも教室を開く。
- ・空き家対策として、ユーチューバーに空き家に住んでもらい、改修の様子などを配信してもらう。
- ・ユーチューバーのようなおもしろい人が住んでいるまちにしたい。
- ・霧島市の海・山・空など魅力を生かしたワーケーションの推進やコワーキングスペースの設置などを通じて、働きやすい環境をつくる。

まとめ			
	★の数	ブレインライティングで★が多いアイデア	左のアイデアについて、一人一人「みんな(※)ができること」 ※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	6	【働き方】 ライフプランとキャリアアップのバランスがとりやすい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ワークライフバランスを取りやすい会社はある。 →すでにやっている会社の周知。</li> <li>●ダブルワークの推進 →兼業、副業を認めるまち</li> <li>●地元の良さを素材、アイデアを大規模店とコラボ開発 →子供の頃から+大人も一緒に考える場づくり(マーケティングが難しいか)</li> <li>●霧島市にyoutuberがいたら良い →ぶっとんでる人、考えの募集 →おもしろい人が住んでいるまちにしたい</li> </ul>
2	5	【生活】 大規模店と地元店が共存できる	
3	5	【企業支援】 スタートアップ支援、スタートアップ教室(こども込み)	
4	4	【空き家対策】 空き家をYouTuberへ	
5	1	【働き方】 海山空などを活かしたワーケーション、コワーキングスペース	

ブレインライティングで★がついたアイデア							
項目	数	項目	数	項目	数	項目	数
ライフプランとキャリアアップのバランスが取りやすい	6	海外、県外へ行きやすい環境	3	・国際線の早期再開 ・海外の姉妹都市の発掘	2	他人と「好き」を共有しやすいコミュニティ作り	1
大規模店と地元店(商店街)が共存できる街	5	youtuberによる「こどもの大人に物申す」インタビュー(相手のやりたいを否定しない文化の醸成)	3	大きな店(モール等)の中に小さな地元の店をいれる	1	住みます芸人みたいな、住みますYouTuberの募集、配信	1
スタートアップ支援、スタートアップ教室	5	心も体もバリアフリー	3	コストコ、イケア、アウトレット	1	You Tuberが多いまち	1
子供の頃から仕事(起業)をしてみる	5	空を飛ばしたい(交通インフラが進んだまち)	3	ゴミ拾い「きんごきんご」イベント	1	海・山・空などを活かしたワーケーションやコワーキングスペース	1
学校、企業単位で環境協力ポイント付与	4	日当山温泉街を昭和レトロな街へ	3	出口戦略を加味したやり方(太陽光発電には最初に廃棄費を支払う等)	1	起業しやすいまち	1
遊び方を教えてくれる人がたくさん(いたらい)	4	趣味を持てるまちづくり	3	SNSなどの充実	1	地元企業への就職の拡大	1
山、川、海がきれい	4	(仕事が自由に選べて)何でもできる	2	日頃言えないことを言える場・未成年の主張・高齢者の主張	1	採用枠の確保	1
集いの場所、心地よい空間(をつくる)	4	老若男女遊べる場所	2	市長がフランクに人に意見を聞く	1		
障がい者でも住みやすい街	4	下井海岸をキリシマビーチと呼称変更	2	チャレンジする人を応援する、できる制度	1		
空き家をyoutuberへ	4	はじめての仕事スタートでお金がもらえる	2	多様性を認めるまち	1		
1次、2次、3次(産業)等に偏らないまち	3	温泉アミューズメント	2	・継業も含めた支援マッチング	1		
(公共の)乗りものがタダ	3	知り合いが多いまち	2	求人を出す人と求人を探す人のマッチング	1		



ブレインライティングで★がつかなかったアイデア				
欲しいものが揃うまち	(下井海岸の)知名度向上!	個性を認めてくれる文化・雰囲気	乗り物が自由に選べる	(住みます芸人みたいな、住みますYouTuberを)全国募集
大きな店を増やす	きれいなまち	個性を発信できる場の提供	オシャレなまち	働きやすい環境(ネットetc..)
働く企業が多いまち	太陽光発電には最初に廃棄費用の支払いを求める	何でも言い合える場所	素敵な建物がある	サテライトオフィスやワーケーションの推進
仕事が自由に選べる	何でも言えるまち	若者の雇用先が多いまち	個性を発揮・発信できる場所	自然を相手にした仕事の開発
働き方が多く選べる	(市長がフランクに市民の意見を聞き、)必ず1つ実行することをその場で1つ決める	会社の誘致	生きがいを見つけやすい(まち)	(自然を相手にした仕事の)やり方を教えてくれる仕組み
中小企業の支援	起業しやすい(まち)	カッコいい会社(があるまち)	生きがいが何か?	子どもが大人にネットを教える
移動がスムーズなまち	よるずや拠点、産業創造の(場の)設置	大手求人サイトに頼らない、地元との連携(商工会、銀行、役所)	趣味でつながるコミュニティー「孤独」をつくらない	財団による起業支援、セミナー、補助事業、融資
交通インフラの進んだまち	(はじめての仕事スタート時に)もらえるお金がたくさん	自然が豊かなまち	否定されず、肯定される(まち)	産・官・学や金融機関との連携
いろんな乗り物(があるまち)	娯楽施設がたくさん	(自然豊かなまちを目指し)木を切らない	心もからだもバリアフリー	
たくさん遊べるまち	各地域にあった(娯楽)施設	緑がきれいなまち	否定してくる人への対処法を学ぶ →相手(否定側)の話をまず聞いてみる(?)	
海・山・川 の環境整備	ギャンブル施設の少ないまち	(自然豊かなまちを目指し)植樹しまくる	(空き家をユーチューバーに貸して)改修前後のBefore Afterと地域の声も配信	
森林セラピー協会、オルレ、ジオガイド×こども	お金に関係なく楽しめる店	交通インフラが進んだまち	(住みます芸人みたいな、住みますYouTuberの募集、配信するための)告知に長けた人の発掘	

	テーマ
B グループ (2回目)	地域が元気になる

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・「おてつたび KIRISHIMA」をつくり、地域外から人を呼び込むことで地域を活性化させる。
- ・年齢、障がいの有無などにとらわれず、あらゆる人がふらっと集まって交流できるような居場所をつくる。(無料Wi-Fiがあるようなカフェでもいい)
- ・「地域を元気にしたい」とやる気のある人を行政がバックアップする。
- ・他地域の親子を招いて霧島緑の村でのグランピングや短期留学・交換留学を通じて、自然とふれあってもらおう。
- ・地域を元気にするために祭りやフェスなどワクワクするようなことを充実させる。花火やドローンのエキシビションがあればおもしろい。

まとめ			
	★の数	ブレインライティングで★が多いアイデア	左のアイデアについて、 一人一人「みんな(※)ができること」 ※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	5	おてつたびKIRISHIMAのブランディング	
2	5	居場所づくり 無料Wi-Fi、カフェ、どんな人も一緒に	●短期留学・交換留学 →学校で左記にあるような企画を子どもたちにしてもらう(他の地域の学校との交流)
3	5	やる気のある人を行政がバックアップ	●おてつたび 人材の流動化、活性化  ●お祭りの充実 →お祭りやフェスなどワクワクするような
4	4	霧島緑の村・グランピングを活かして親子の短期留学・交換留学	●居場所づくり →ぶらっと入れるような仕組み
5	0	お祭りの充実 花火・ドローンのエキシビション	

ブレインライティングで★がついたアイデア					
項目	数	項目	数	項目	数
コミュニティカフェ持ち寄り制、場所だけ開放	6	子供会で祭りや花火大会等を企画し、それぞれでSNSアカウントをつくり発信していく	4	おてつたびの子供バージョン(就業体験)	1
おてつたびKIRISHIMAのブランディング	5	盛り上がる名物お祭り(でにぎわいを生む)	3	(子どもが自由に遊べる場所や遊具の充実を目指し)子供に企画してもらう	1
居場所の充実(Wi-Fi、カフェ、広場)	5	体験を通じて移住者を増やしていく	3	(笑顔の多いまちを目指し)なまりを引き継ぐ	1
子育て、親子、短期留学、交換留学(どこかと連携)	5	5Gを使って無人バス(による)移動販売	3	職業体験の充実、認知拡大、質向上、教員の意識改革、教員の副業解禁	1
学童や、中高生でも無料でWi-Fiを利用できる環境	5	(居場所づくりとして)だれか1人の力に頼ることなくふらっと立ち寄れる運営	3	(移動が)不便な場所への配達が必要	1
(市民のサポートを)やる気のある人を行政がバックアップ	5	放課後の時間を学校と市民で豊かにする	2	(古民家を活用して)様々な飲食業に日替わり又は週替りカフェを開いてもらう	1
(SNSで市内の名所マップづくりを)学校の授業で体験する他の地域とコンテスト、交流させる	5	移住補助(お金、インターネット)、リフォーム手当	2	(古民家を活用した飲食店の事業に関して)市がプラットフォームを作り公費でチャレンジのハードルを下げる	1
霧島みどりの村グランピング	4	簡単に気軽に空き家産業に関わられる入り口づくり	2	市の公式SNSの充実	1
(不便地域にモノを配達するため)ランニングウーバーイーツ、マッチングアプリ、ドローン(を活用する)	4	(お祭りに)多くの人に参加してもらえるようにSNSで発信する	1	霧島全域フリーWi-Fi化	1
学校の授業で昔の遊びを行う授業をする	4	山間部の学校だからこそできる特別授業	1		

ブレインライティングで★がつかなかったアイデア

おまつり(リアルでもオンラインでも)をする	大人も子どもも関係なく楽しめる遊びのトーナメント(チーム)をつくる	(自然とのふれあいの楽しさを知るために)市立自然学校の創設	(古民家を活用した飲食店の事業に関して)簡単な仕組みにする	市民のサポートを全力でする 頼れる行政になる	ネット(の活用)
にぎわい(を生む)	(子ども・障がい者・高齢者の交流するためには)気づきが必要。障がい者のことを知らない	自然を活かした体験授業、交流	(地域が元気になるために)地域行事	行政と市民の交流会	市役所の中のカフェ、フリースペースに週替りでテナント(お店)を出す
・浜下り ・初午祭 ・お田植祭etc	(子ども・障がい者・高齢者が)お互いをより知るワークショップ	笑顔の多いまち	伝統を残して継いでいく	行政が人の心や顔が見える 情報発信(をする) 「公務員」からの脱却	空き家の利用 集人駅前の本屋さん跡etc
お祭りの充実 もっと大きな祭りをする	対象者を絞らない居場所づくり	地域の体験講座	(地域行事等、伝統を残していくために)子供達を巻き込む(お田植祭)	(地域が元気になるために)遊び	居場所づくり
山(特認校)の小さい学校を活用し 様々な教育を行う	移住体験	様々な職種の体験	気楽に集える場所作り	高齢者から子供たちへ昔の遊びを体験してもらう	全世帯の交流の場所(空き家活用)
(山(特認校)での)授業を通してリアルな体験	(子育て、親子、短期留学、交換留学を)身近に感じる仕組み	教員が副業できる環境づくり	(気楽に集る場所として)公園や公民館を気軽に使えるように整備する	(高齢者から子供たちへ昔の遊びを体験する)仕組みづくり…	空き家で定期的なお茶会
(山(特認校)での)体験授業(にわたりのしめかた)	移住者を盛大に歓迎するまち	交通の便が良い(まちにする)	(地域が元気になるために)交流する	高齢者と子供の交流	(交流場所に)ふらっと立ち寄るための運営…
(山(特認校)での体験授業を)ユーチューブ等で紹介	留学生みたくに(移住者)を受け入れる家庭を募る	(移動先での)人々の交流	子どもから高齢者、障がい者、外国人…すべての人が(交流できるまちにする)	(移住補助について)まずはSNSで情報発信	中山間地域こそ5G、6Gの早期導入を。
おてつたびの認知度をあげる	空き家を活用し、居住環境を充実させる	ウーバーイーツを広い地域で する	(子どもから高齢者、障がい者、外国人)一緒に一緒にする	市のSNSをわざわざ見る機会がない	SNSの活用
数年前、霧島子ども探検隊というのがあった	自然とのふれあい	安く質の高い(家)に住める	(子どもから高齢者、障がい者、外国人が)一緒に役割をもって働く居場所(をつくる)	(市の)SNSの魅力とSNSを使ったお得感がほしい	SNSでの発信と合わせて名所マップ作り
子どもがもっと自由に遊べる場所 遊具の充実	(自然とふれあうために)学校教育・遠足・総合的な学習の時間などに入れる	古民家(の活用)	(子どもから高齢者、障がい者、外国人が)カフェで交流(広くアナウンス)	少しずつ身の回りの人たちを(市の)SNSへ引き込む	(SNSでの発信や名所マップ作りの)コンテストを通して何か…
子ども・障がい者・高齢者の交流	自然とのふれあいの楽しさを知るためには?	古民家をカフェや住居、移住者の住まいにする)	(地域が元気になるために)支援する	地域交流	移住者と地域との交流
(祭りや花火大会を)SNSで発信	子ども会を活用	子ども会、老人会 自分たちでつくるまち祭り			

	テーマ
Cグループ (2回目)	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続ける

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・多世代で助け合いながら、つながりをサポートできるコーディネーター(専門家)を育てる。
- ・高齢者が外出しやすいようにバスやタクシーといった交通手段を確保するなどインフラを整備する。
- ・こども食堂を活用して子どもから高齢者まで多世代が交流できる場をつくる。
- ・いろいろなタイプの高齢者施設があってもおもしろい。
- ・楽しみや生きがいを持ち楽しく毎日を過ごすことで、健康寿命を延ばす。

まとめ			
	★の数	ブレインライティングで★が多いアイデア	左のアイデアについて、 一人一人「みんな(※)ができること」 ※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	5	【助け合い】 多世代で助け合い、つながりサポートするコーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>●そもそも住み慣れている必要はあるか？ →専門家が必要</li> <li>●インフラ整備 →バス？タクシー？助け合い？</li> <li>●コンパクトシティ →多世代交流、子供食堂</li> <li>●QOL →子供も高齢者も住みやすく →教養、子育てのテーマとつながる！</li> </ul>
2	5	【インフラ】 インフラ整備	
3	5	【QOL】 こども食堂の活用	
4	4	【QOL】 いろいろなタイプの高齢者施設	
5	—	【QOL】 健康寿命を延ばす	

ブレインライティングで★がついたアイデア					
項目	数	項目	数	項目	数
こども食堂の活用	5	移民を受け入れて様々な人がいる地域にする	3	自分の家族との人間関係改善	2
バスよりコンパクトに動けるインフラ整備	5	食事を作りたい人と食べたい人をマッチング	3	(動物と高齢者が一緒に過ごすため)ペットホテルの従業員として高齢者を雇用する	1
人と人とのつながりをもたせるコーディネートをつくる	5	オンラインもオフラインも人と人を大事にしたい	3	インフラ、特にネット環境の強化	1
子供、仕事以外に楽しめる場をいくつか	5	地域の多様性を認められるように人間力向上	3	(交通の不便を解消するために)ご近所での支え合いもほしい	1
多世代での助け合い	5	(地域の色(多様性)をわかりやすく区別するため)スマートウォッチみたいなつける	3	バラバラに住むのではなく、一極集中させるのもあり?	1
(高齢者に)体験移住をする機会を与える	4	居場所だと感じられるところを増やす	3	巡回バスやタクシーを負担なく利用できる	1
高齢者施設の充実(いろんなタイプがあってもいいのでは?)	4	公園などにドッグラン	2	居住者以外の交通インフラの利用を増やす	1
住み慣れてなくても暮らしやすく	4	ペットとの交流スペースをつくる	2	バスを廃止してすべてのタクシーにしてその分の補助を出す	1
介護が必要ない元気な高齢者を増やす	4	(ネット環境を強化するため)エリアWi-Fiを導入する	2	(地域で支え合うための近所づきあいとして)飲み会	1
ウーバータクシーを使えるようにする	3	多世帯、二世帯住宅への支援など。	2	交通インフラの整備	1
学童で高齢者がこどもに教える	3	(買い物支援として)配達ツールの確立	2	ITの活用(医療面、交流ツールとして)	1
物産館に交流の場を作る	3	(孤独死問題解消に向けて)近所とのつながり	2	地域の色(多様性)をわかりやすく区別する	1

ブレインライティングで★がつかなかったアイデア

動物と高齢者が一緒に過ごす	(高齢者を)知る機会を増やす	近所付き合い	生きがいは一人一人で行って
周りの人も協力してペットの世話	世代を超えた交流の場を増やす	高齢者が行動しやすいインフラ	自分の生きがいでだけでなく、他者の生きがいに寄り添う余裕を持ちたい
保護犬や猫の活動もサポート	世代を超えた交流の場を増やす	バスの便数が減らないように利用を促進する	介護する人が足りない
不便であれば移住も提案する	(世代間で)仲良くなれる機会が必要	バスではなくても良いものはないか？	介護が苦しい仕事じゃなくなるために。
元気なうちから(移住など)選択肢を広げておく	(高齢者が子どもに教える)学校の授業を受ける	買い物どうする？	介護するのが楽になる居住空間を作る
若者も残れるような住環境	交通インフラの充実	(買い物支援としての配達ツールは)学校の給食と同じ？	どこで最期を迎えたいか
まち全体が環境が良くなれば(オンライン診療も)	(巡回バスやタクシーで)物産館も行ける(ようにする)	(食事を作りたい人・食べたい人をマッチングして)「懐かしいのおばあちゃんの味」も引き継いでいけたら…	体が不自由になっても住み続けられるか？
アプリの開発	(物産館を交流の場にして)定例行事にしてしまう	孤独死問題	介護施設以外の第3の場は？
交通の不便を解消	それぞれの事情に合わせて(られるまちづくり)	今いる所がベストとは限らない	できるだけ元気でいたい
地域に色をつける	事情に合わせて居住エリアの設定	どこに行っても暮らしやすく。	楽しみながら共有もできる
(高齢者が)楽しめるように若い人がサポート	事情に合わせてその(居住)エリアを結ぶことが大事	家族が居場所を確認できる	楽しみってそもそもある？
(若者が高齢者をサポートできるように)施設への訪問の場面を作る	地域で支え合うってどういうこと？	他の地域の方が生きがいがあるのでは？	健康寿命セミナー
ふるさとの定義って？	集合住宅にみんなで住む方が良い	自分が育った場所に住む	

	テーマ
D グループ (2回目)	商工業が元気になる

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・市内の企業がお互いどんな事業をしているのか知ることができる交流の場をつくる。
- ・霧島市の産品に共通ネーミング (KIRISHIMA〇〇など) や共通ロゴをつくり、地域ブランド化して、ホームページやイベントなどで発信する。
- ・“霧島らしい” “霧島ならではの” のモノや体験を磨き上げ、共通ロゴや共通ネーミングをつくり、市内外に発信していく。
- ・“霧島らしい” “霧島ならではの” のモノは、小ネタ自慢大会のようなイベントを開いて「あなたが知らない私だけが知っている小ネタ」を募集するのもおもしろい。

まとめ			
	★の数	ブレインライティングで ★が多いアイデア	左のアイデアについて、 一人一人「みんな(※)ができること」 ※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	6	【商業・事業をつくる】 企業同士をつなぐ、トライ	複数で:シンプルにみんなが何をやっているか知りたい→交流会
2	4	【地域ブランドの発信】 ロゴ、ホームページ、企業イベント	—
3	3	【産業、事業をみがく】 ならではのモノ、体験のまとめ	今あるものを。 新しいものを:ブランド化→共通ロゴ、ネーミング→霧島らしさ? あなたが知らない私だけが知ってる小ネタ自慢大会



ブレインライティングで★がついたアイデア					
項目	数	項目	数	項目	数
霧島愛を伝えられる企業イベントを作る	7	(創業に向けて)とりあえずやってみる場がある	3	市民全員の入った地域共通のSlackやTeamsでオンラインでのやり取りや隔週でもよま相談会(を開催する)	2
異業種どうして職場見学	6	あなたが知らない、私だけが知っている霧島トリビア、小ネタ、雑談自慢大会(を開催する)	3	(霧島を盛り上げたいと思っている移住者に対して)食・住付きの仕事をしてもらう(最初の1カ月だけでも)	2
体験、心身の変化を売りに。(クリスマスで〇〇する時間、〇〇になる時間ギフト券等)	5	1ターンもUターンも狙った(就職)説明会	3	霧島ベンチャーアイデアソン	1
霧島のモノ・サービスがひと目でわかるホームページなどを作る	4	霧島茶などの地域事業ブランド化	2	大人に対するマインド改革(セミナー)	1
霧島で生活することのメリットを発信	4	多くの年代の人が活躍する	2	(高齢者を雇用することで)昔の仕事、働き方からひらめきを得る	1
日本1の幸福度高く働ける企業が多い市としてブランド化する	4	(人口増のために市内の)業者へのUターン、1ターン	2	(創業に関して)実践行動ができる人にまずしてもらう	1
(産品に関する共通ネーミングや)共通ロゴがあっても面白い	4	(環境問題解決に向けて)竹灯りをつくり各企業の入り口に置いてもらう	2	(創業に関して)事業相談ができる事業者をつなげてくれる	1
企業×企業で新しい企画ができる	4	(霧島茶が他地域のお茶と)どう違うか、霧島らしさを明確にする	2	繋がりがほしい人どうしのコミュニティの場づくり	1
霧島市内の会社で事務の長期インターンをしてみる	3	(産品のネーミング等を考える)クリエイターの選出(地元からの公募、愛称募集)	2	プチ起業、週末起業などちょっとした相談員(とりあえず登録してマッチング制度があればいい)	1
高校生に企業紹介、動画を作成してもらう	3	クリスマスノー残業デーの設立	2	今っぽい霧島ならではの創る、磨く(昆虫食、火山活用、高齢社会、宇宙など)	1
何をつくってる人がいるのか、見本市みたいなもの(があればいい)。個人、法人ともに参加OK)	3	(市内の企業間で副業・兼業ができたら)おじいちゃんおばあちゃんも孫のお小遣い稼ぎができる	2	(企業同士の交流の場として)隔週のよま相談会(を開催する)	1
(クリスマスセレクトショップで)みんなが持っているものからのここでしか手に入らない価値、モノづくり	3	インフルエンサーに霧島大使になってもらって発信してもらう	2	(食べ物や温泉以外で魅力を見つけるために)アウトドア、デトックス、スーパーフードなど今っぽいものをジャンル別でまとめる	1

ブレインライティングで★がつかなかったアイデア				
合同会社説明会	若者に地元企業を知ってもらう機会をつくる	勤務条件を良くする	地場産業内で1日職場体験し合う(ランダムに決まる。お互い相手の仕事を知る)	(企業同士のマッチングサービスで)Win-Win-Win(3者以上)の仕組み作り
オンライン(ZOOM)で合同説明会を開催	(若者に地元企業を知ってもらうために)SNS発信(インスタなど)アピール力上げる	残業をなくす	同業種との繋がりでは他業種とどう繋がっていくか?	企業同士の交流会
(オンライン合同説明会を)アーカイブとして過去の説明会を見られる(YouTube)→進化してるよ	(若者に地元企業を知ってもらうために)リアルなイベントを設ける	復帰しやすくする(産休後)	(霧島茶など地域産業をブランド化して)飲み比べ(茶以外にも)	企業参加イベント
学生のためだけでなく大人も(オンライン合同説明会を開催する)	近隣の人の対話時間+職業体験+観光のツアー 移住したらキャッシュバック(普通に霧島に旅行に行くよりこっちの方が安い)	何代も続いている会社	高級茶カフェをつくる)	霧島セレクトショップ 合同ブランド コラボ商品・サービス
霧島市内の企業間で副業・兼業(できるようにする)	不便なものやことを楽しめる仕組み	(何代も続いている会社を)広報誌などで取り上げて知ってもらう	お隣さんやご近所さんはこんな仕事している(と知る)	(霧島市でしか手に入らない価値やモノを)市外・県外に広めていく
副業に対する考え方を(多くの年代に)伝える	(産品に共通するネーミングを付けるため、)名前(ネーミング)のアンケートをとる	会社に愛着をもってもらう	集客方法のセミナーも開く	地元にしかないものをブランド化
創業ファンド設立	産品のネーミングを公募	会社を応援してもらう	霧島(鹿児島)出身で成果を上げている人に教えてもらう	食べ物、温泉以外のものを発掘する
実際に創業した人とつながる仕組みづくり	イメージキャラクターゆるキャラ	(霧島愛を伝える企業イベントをつくり、)出展・見学受け入れ、インタビュー動画を作成する	霧島市内のブランド化(モノ、コト、サービス) 日本中へ周知する	(霧島市の)温泉と食で復活(元気になってもらい、日常の)激務に立ち向かう
事務系の仕事を増やす	・どんな会社がある? ・どんなことやってる? ・ファンになってもらう 地元の企業を知ること	(今っぽい霧島ならではの)作り、磨くために)あるあるネタ霧島市版を作る	webデザイナー教育(ブログ ラミング)	地元のお店を集めたイベントで地元を知る
事務の研修をする機会を増やす	(環境問題を意識して)竹灯りを灯すイベントを開催する。作る場所からする。	(あるあるネタ霧島市版を)みんなにそれを配る	地場企業もしくは誘致したい企業に手伝ってもらう	人口を増やす
市場調査を初回無料にする。	祭り(で盛り上げる)	(あるあるネタ霧島市版を)配った人に見てもらえるような工夫をする	地域外(福岡とか東京)に売れる霧島オンラインショップ	産業を盛り上げて、来たいと思える仕組・仕掛けづくり
(市内の市場調査をする際に)モニターとしてプレゼント企画(あやしいけど…)・返礼品・黒豚とかお茶とか	長く働ける場所、会社	地場産業 担い手の育成・伝承	企業同士のマッチングサービス	(市外から人を呼び込み)地元民に受け入れてもらえる縁を新しく結ぶ

	テーマ
E グループ (2回目)	スポーツや芸術を楽しむ

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・みやまコンセールはクラシックのイメージが強いので、クラシックに馴染みのない若者も気軽に行けるように、若い世代のアーティストを招く。
- ・郷土料理を受け継ぐために、おばあちゃんたちの知恵やレシピを集約した本を出版したりWEBで公開したりする。
- ・上野原縄文の森でイベントを開催したり、キャンプをしたい。
- ・マラソンと温泉をセットにした大会を開催する。その際、障がい者も一緒に楽しめるような温泉施設が必要。バリアフリー対応の温泉施設をつくることで市のPRにもなる。
- ・おばあちゃんなど高齢者が講師になって鹿児島や霧島市の歴史・文化を教えるオンライン・オフラインで参加できるような講座をつくる。

まとめ			
	★の数	ブレインライティングで★が多いアイデア	左のアイデアについて、 一人一人「みんな(※)ができること」 ※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	6	みやまコンセールの活用	●若い世代のアーティストを呼ぶ
2	5	【温故知新】 おばあちゃんたちの知恵、郷土料理の知識本、ウェブでも	
3	5	縄文の森でイベント キャンプしたい！	
4	4	【イベント開催】 霧島マラソンや温泉大会開催	●一緒に楽しむためには！ →障害者も利用できる温泉施設を！
5	2	(鹿児島文化の)オンライン、オフライン両方の講座で参加者を増やす(おばあちゃん講座)	

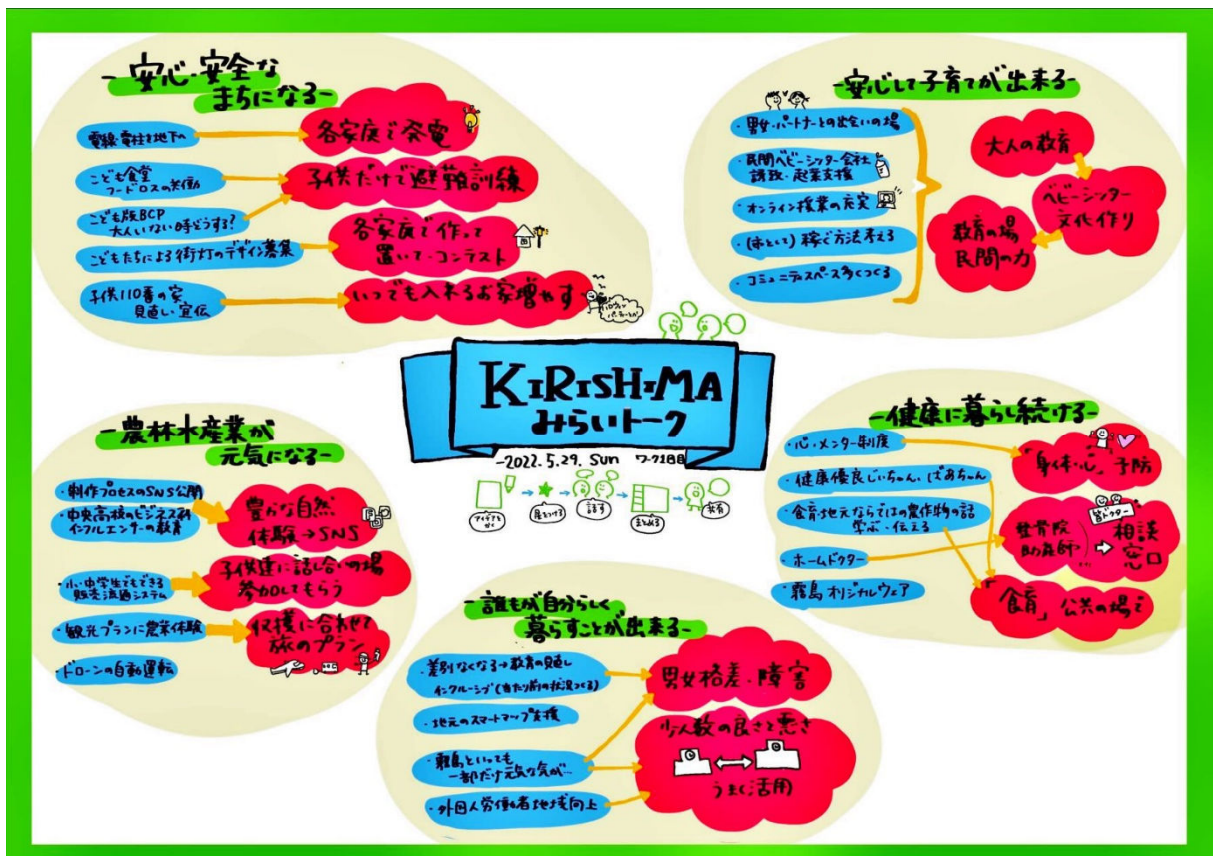
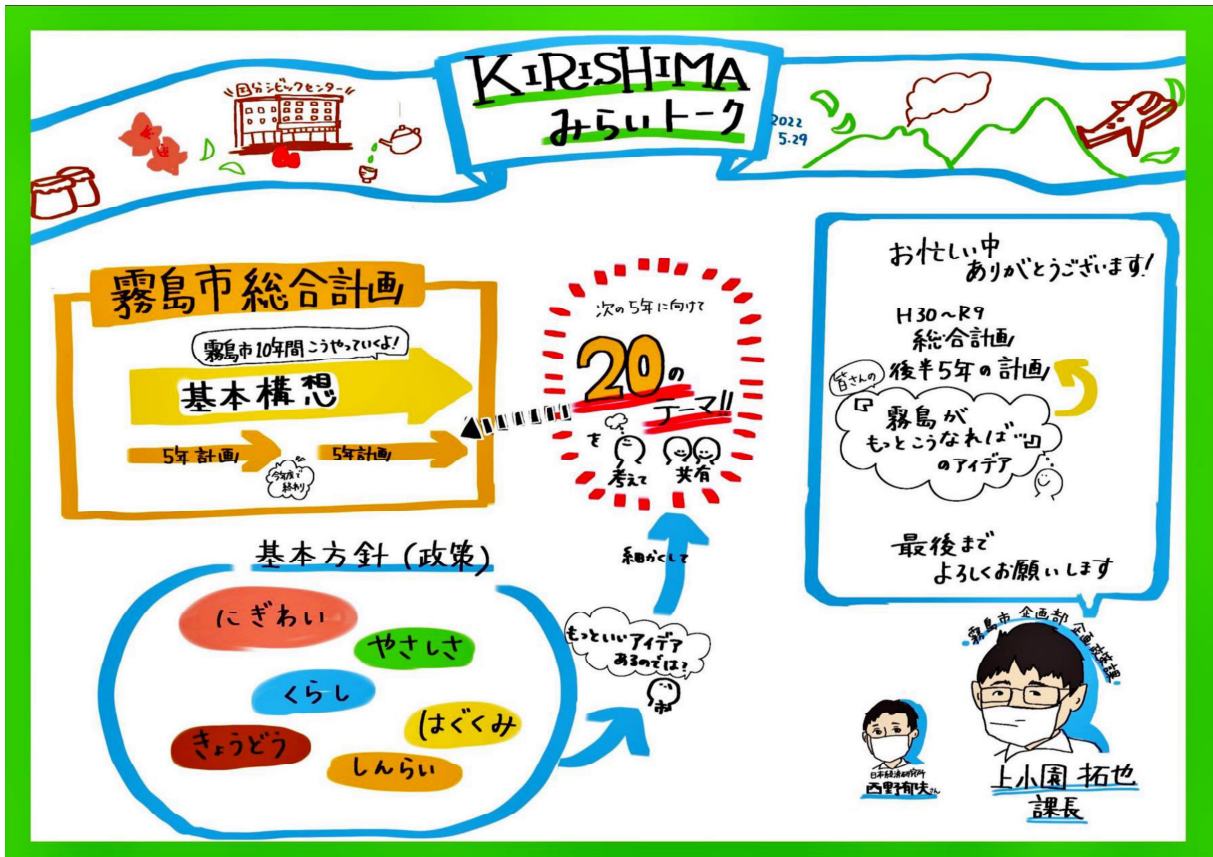
ブレインライティングで★がついたアイデア

項目	数	項目	数	項目	数	項目	数
(日本・鹿児島県の文化に関する)オンラインオフライン両方の講座で参加者を増やす	6	給食に地元の食材、料理を盛り込み、(食文化を学ぶ)	3	マイナー競技でもいいので一線の方を呼んで紹介する。	2	eスポーツ、障害スポーツ、デフリンピックなどたくさん知る機会を作る	1
障がい者が温泉を楽しむためには難易度が高い、気軽に行けない	5	アートストリート。道を走っていると目に入るアートを制作する。	3	マラソン大会だな！！	2	各種スポーツのプロを呼んで体験教室	1
おばあちゃんたちの知恵、知識を集約する(ウェブでも公開)	5	(プロスポーツチームの誘致に関して)鹿児島らしさ	3	空いている家とか美術館にできないのか？	2	みんなが集まって知らない人どうしがスポーツできる場	1
キャンプ場でのイベント企画(縄文の森に泊まる)	5	障がい者スポーツの体験、一緒にやる	2	(キャンプ場を)夜を開放する	2	(縄文の森でのキャンプなど)今あるものを活用	1
移動式(の美術館)	4	(障がい者が温泉を楽しむために)足湯は？(高齢者も)みんなのできるスポーツをする。	2	伝統文化の紹介、体験	1	(霧島マラソンと温泉をセットにするために)温泉とセットで旅行パックをつくる	1
霧島マラソン大会+温泉	4	(霧島の名所や伝統文化は)PR不足	2	(スポーツや芸術を親しむために)市民特典(メリット)がある暮らし	1	(霧島市の魅力発掘のために)市民の知らない県外の人にきてもらい探してもらう	1
温泉街に(マラソンの)練習コースをつくって宿を給水所にする	4	(霧島の名所や伝統文化をPRするために)SNSの活用	2	農業体験ができる	1	(まちの名物や観光地など)フォトコン(を開催する)	1
(みやまコンセルは)クラシック以外でも使用していないのか？若い世代のアーティストを呼ぶ	4	(日本や鹿児島県の文化を伝えるために)zoomで公開講座を企画する。近所のおばあちゃんが講師をする。	2	巻物など郷土料理のレシピ、レトルトで売る	1	みやまコンセル=クラシックのイメージ若い人たちも来やすく。	1
温泉足湯に入りながら(映画祭をやる)	4	(食文化を学ぶために)学校で牛を飼う	2	(障がいや年齢に関係なく)一緒に競技ができる場を作る	1	映画祭をやる	1
(市内の温泉で)プロスポーツの人たちが怪我を治療できる例を作る	4	(食文化を学ぶために)産学連携	2	知らない人同志がスポーツできる場	1		
障がいとか高齢とかeスポーツとかキャンプを招く	3	(子どもと芸術を学ぶ)ワークショップをする。授業参観で外部講師でも。	2	(鹿児島黒牛について学ぶイベントを開催し)給食でメニューにして学ぶ。	1		

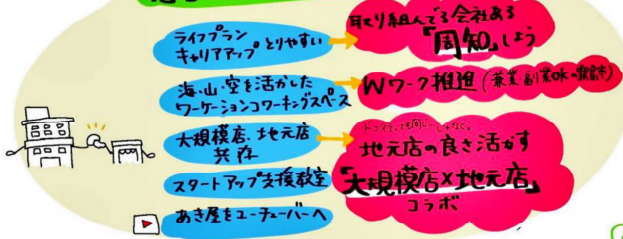
ブレインライティングで★がつかなかったアイデア

障がいがあっても楽しめる	(郷土料理に関して)料理系インフルエンサーとコラボレーション	今ある施設を使って気軽に参加できるイベント(を開催する)	歴史や文化(食・祭りなど)に触れられる施設が欲しい	食文化と歴史と食をコラボする。
(障がい者スポーツの体験と)ついでに一緒に温泉も。	メジャーではないスポーツを知る	子供と芸術を学びたい	テーマパークのように(歴史や文化を)遊んで触れられたら良さそう	ホールで音楽の授業や企業研修をする。
温泉や霧島のおいしい食事、まちの魅力向上(を図る)	メジャーではないスポーツを知りたい	市民も観光ランナーも楽しめる場所づくり	縄文の森広場のような施設を!もっと体を動かして学べるテーマパークがほしい	(映画祭をするなら)コンセプトをはっきり特化させるとか?
霧島の名物を世界に売り込む	公園・スポーツ施設を分かりやすくする	みんなで好きなように絵を書いたり、何か作る。それを飾る	(霧島マラソン+温泉大会を)開催するために必要なものを整備する	(映画祭は)霧島市ならではの取組にできるか。人を集めるための差別化(が必要)
住んでいても霧島の名物が分からない人もいそう。地元民へのPR	昔から言い伝えられている	プロスポーツのキャンプや試合が観たい	(霧島マラソン+温泉大会を)どんなコースにするのか?霧島には山も錦江湾もある。	(霧島市ならではの映画祭として)桜島を見ながら(海などで)。
(霧島の名物の)PRをもっとできるようにSNSの勉強会(宣伝の仕方を学ぶ)	日本文化・鹿児島文化の講座をしてほしい	(プロスポーツのキャンプや試合が観たい時)野球以外で何?	温泉街に歩道を整備する。日常的に走って温泉に入る習慣を身につける。	(映画祭と)温泉・観光と組み合わせる。誰でも出店できる
各施設の情報をより分かりやすく出す	鹿児島弁講座を開催希望	サッカーでも卓球でもプロの方に会いたい	精度を上げる。あじさいロードなど街の景観	プロスポーツチームの誘致
(各施設を利用する際に)霧島市民優遇?差別化?(を図る)	県外も含めて霧島市のファンづくり→移住・Uターンにつなげる	オリンピックとか、ゆかりの選手が内緒で部活に飛び込む。それを宣伝する。	霧島市の持つ魅力を市民が理解する	(プロスポーツチームを誘致するために)霧島市だからできること。空港に近い、温暖な気候など。
(スポーツや芸術を)市民も楽しめる内容	(食文化に関して)鹿児島黒牛について学ぶイベントを!	美術館が欲しい	市民でも知らない場所があるのでは?知るきっかけ(をつくる)	(プロスポーツチームを誘致するために)アリーナなど施設を整える
郷土料理	(食文化に関して)命をいただくことをもっと身近にする	子どもと一緒に楽しめる美術館	(市民でも知らない場所を)インスタグラムで宣伝する	(プロスポーツチームを誘致するために)インスタ・SNSで宣伝する
近所のおばちゃんたちに(郷土料理を)教えてもらう	海外のたくさんのスポーツを知る	市民参加型の美術館(発表がメイン)	みやまコンセルの活用	美術館をつくる
(郷土料理に関する)レシピ本の作成	現在あるスポーツ施設を再整備する	様々な場所にアートを設置する。その地域全体を楽しめる仕掛けにする。	(みやまコンセルは)現在どれくらい活用されているのか。有名なアーティストや演奏家を呼ぶためには?	(廃校を美術館として使うなど)使える施設でアクセス面とかの整備も必要
美術館と聞いて自分は興味ないと思う人もいそう	美術館の中にアーティストと一緒に(居てもらおう)	(美術館)横にレストランもつくる。宿泊も連動させて一体的に運営する。		

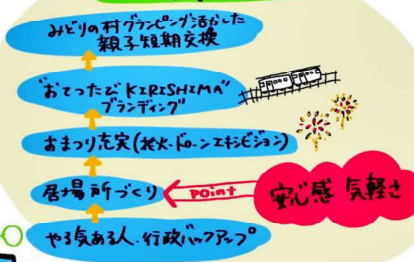
(5) グラフィックレコーディング



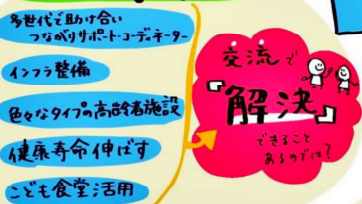
**-若者が住みたくなるまち-**



**-地域が元気になる-**



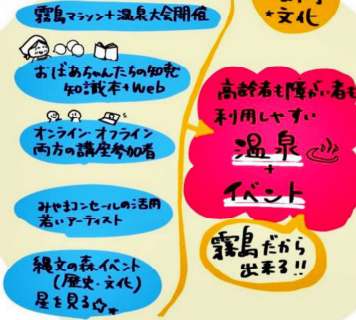
**-高齢者が住み慣れた 地域で暮らし続ける-**



**KIRISHIMA**  
**みらい7**  
-2022.5.29. Sun ワク200



**-スポーツや芸術を楽しむ-**



**-商業が元気になる-**



## (6) 参加者アンケート結果

### 1) 調査概要

5/29に開催したKIRISHIMA みらいトークの参加者に対して、アンケート調査を行った。

### 2) 対象者

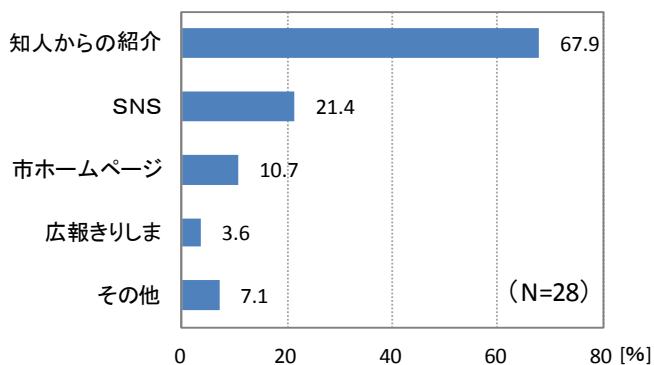
KIRISHIMA みらいトークの参加者：29名 回答者数：28名（回答率：96.5%）

### 3) アンケート結果

問1. 申し込みいただいたきっかけをお聞かせください。（複数回答）

- 申し込みのきっかけについては、「知人からの紹介」が19人（67.9%）で最も多く、次いで、「SNS」が6人（21.4%）、「市ホームページ」が3人（10.7%）の順となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	知人からの紹介	19	67.9
2	SNS	6	21.4
3	市ホームページ	3	10.7
4	広報きりしま	1	3.6
5	その他	2	7.1



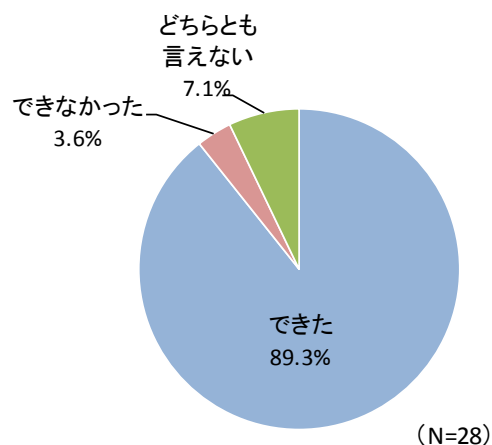
#### 【その他】

検索していたら
担当から

問2. 意見交換を活発にすることができましたか。

- 意見交換については、活発に「できた」が25人（89.3%）と約9割を占めている。一方で、「どちらとも言えない」は2人（7.1%）、「できなかった」は1人（3.6%）となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	できた	25	89.3
2	できなかった	1	3.6
3	どちらとも言えない	2	7.1

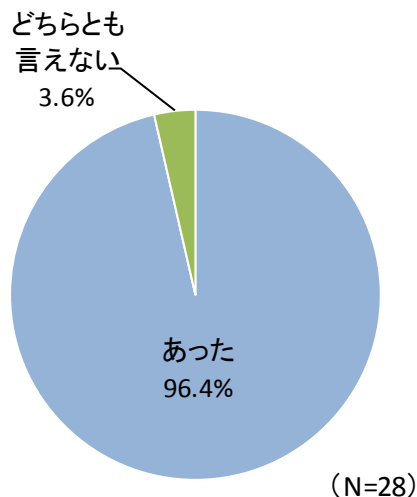




問3. 参加されて新しい気付きや発見がありましたか。

- 参加して新しい気付きや発見の有無については、「あった」が27人(96.4%)で最も多く、約9割以上を占めている。一方で、「どちらとも言えない」は1人(3.6%)となっており、「なかった」と回答した回答者はいなかった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あった	27	96.4
2	なかった	0	0.0
3	どちらとも言えない	1	3.6

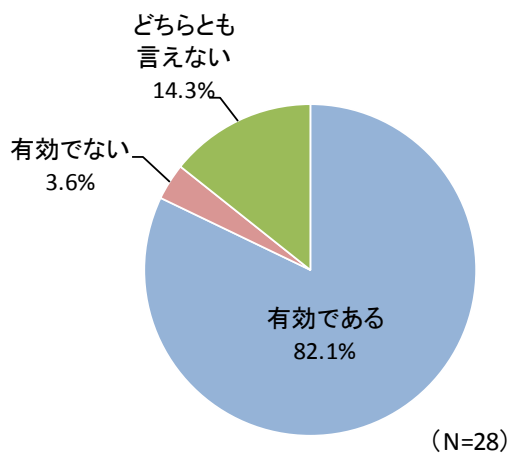


問4. 本ワークショップは市民参画の方法として有効だと思いますか。

その理由についてもお聞かせください。(任意)

- 本ワークショップが市民参画の方法として有効かについては、「有効である」が23人(82.1%)と約8割を占めており、次いで、「どちらとも言えない」が4人(14.3%)、「有効でない」が1人(3.6%)の順となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	有効である	23	82.1
2	有効でない	1	3.6
3	どちらとも言えない	4	14.3



【理由】

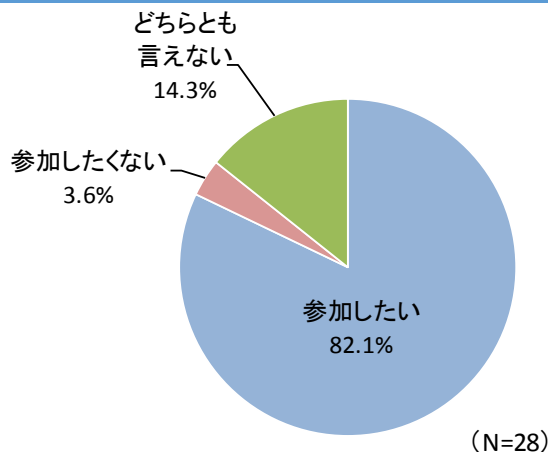
有効である	いろいろな市民が参画していた。
	生活者、市民目線での議論が出来るため。
	様々な人と話をしながら進めることができたから。
	自分も相手を真剣に考える機会になり、より良いものが長い目で見て出来ると思ったから。
	市民としての存在理由や意見の反映があることで、より意識を高めることができるのではないのでしょうか。
	もっとたくさんの方が参加しても良いと思います。
	このような場が必要だと思うが、内容は変えるべき。
	様々な業種や立場の方が参加されており、有意義な時間になった。
	いろいろな環境の人たちがいてよかった。
	霧島市について考えるいい機会になった。
	市民の意見を、直接吸い上げられる。
	多方面の情報が知れる。新たな発見があった。
	脳をよく使った。
	不特定多数の知らない者どうし、だけどやる気のある人達が交流して、これからの霧島市。
	市民が参画できる機会はないと思うので、よい方法だと感じました。
色んな人でテーマについての深堀ができた。	
有効でない	人口の多くを占める高齢者がほぼいない。前期の総括は？
どちらとも言えない	有効は何を、どんなことを有効というのかわからないから。
	高齢者の参加が少ない。
	市民は無責任だから。

問5. 今後もこのような市民参画の機会があれば参加したいですか。

その理由についてもお聞かせください。(任意)

- 今後の参加意向については、「参加したい」が23人(82.1%)と約8割を占めており、次いで、「どちらとも言えない」が4人(14.3%)、「参加したくない」が1人(3.6%)の順となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	参加したい	23	82.1
2	参加したくない	1	3.6
3	どちらとも言えない	4	14.3

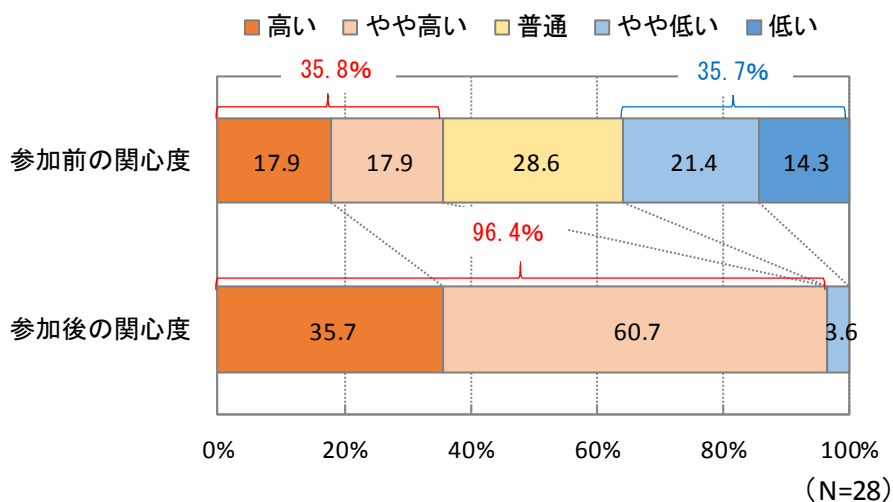


【理由】

参加したい	他のテーマについても話し合ってみたい。
	内容によりますが、今回は面白かったので参加したいです。
	色々な人の意見が聞けるから。
	市政に反映されるように、市民として興味を持たなければならない。
	毎日、同じ環境、同じ仲間としか仕事をしないので、新鮮だから。
	知らない意見を知れる。
	仕事へのよい参考になる。
	新しいまちについて私達自身で考えていく必要があると思う。
	テーマは難しいものもあるが、考えるきっかけになった。
	ワクワクする。
	様々なバックグラウンドの人の意見が聞ける。
	多様な視点が持てる。
	霧島市を元気にしたい。ワクワクしたい。
日頃は国分に住んでいるので、中山間地域の情報等も入ってくるので、よい機会だと思うから。	
住民だから。	
参加したくない	読み物が多かった。もっとディスカッションがあると思っていました。すみません。

問6. 本ワークショップに参加前と参加後の「総合計画」への関心度をお聞かせください。

- 「総合計画」への関心度については、**参加前**は、「普通」が28.6%で最も多く、『高い』（「高い」と「やや高い」の合計）は35.8%、『低い』（「低い」と「やや低い」の合計）は35.7%となっている。**参加後**は、『高い』が96.4%まで増加し、「やや低い」は3.6%にとどまっている。



【参加前】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	高い	5	17.9
2	やや高い	5	17.9
3	普通	8	28.6
4	やや低い	6	21.4
5	低い	4	14.3

【参加後】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	高い	10	35.7
2	やや高い	17	60.7
3	普通	0	0.0
4	やや低い	1	3.6
5	低い	0	0.0

問7. 本ワークショップへのご意見や総合計画策定に向けたご意見等ございましたらお聞かせください。

自由意見【ご意見・ご感想】

1	アイデア出しだけでなく、実行までサポートする仕組みづくりがあるとよい。また、2回ではなく、月1くらいあると、多様性も生まれる。
2	今回出したアイデアがどう生かされたのか、今後、知れたらいいなと思います。
3	是非、良い物にして下さい。ありがとうございました。
4	ありがとうございました。
5	刺激がありました。普段考えない事を考えられて、反映されるかは分かりませんが、他者との交流が出来たので、ためになりました。
6	学生参加もいいかも。
7	市としての課題はなんだろうか？打ち手をひたすら出すだけだと厳しいですね。
8	霧島市がもっと魅力のある町になっていけばいいなと思います。
9	私自身もためになりました。霧島市が高齢者、障害者、若い世代、みんながワクワクする街にしたいです。
10	障害者目線でも、ぜひ考えてもらいたいです。
11	テーマは一つでも時間が足りないくらいではないかと感じた。高齢者や多世代、障害等、専門職以外の感想、意見が聞けて新鮮だった。皆、自分以外の誰かのことを考えていた。
12	テーマを絞って、小中学生にやらせてみると、色々な意見が出ると思った。
13	参加者の偏りが改善されればよい。
14	未来に期待しています。
15	今後もこれらの企画を希望。
16	霧島市で大きな花火大会を！！「わくわく」することを！！
17	たくさんの意見はもちろん必要だが、課題が多すぎて、結局何も実現しないというオチにならないことを願います。

## 2. 第2回ワークショップ

### (1) 日時・場所

■日 時：令和4年6月25日（土）13：30～16：00

■場 所：国分シビックセンター多目的ホール

### (2) 会次第・テーマ

#### 1) 会次第

- ①部長あいさつ（霧島市企画部長）
- ②アイスブレイク
- ③興味につながるワンポイント
- ④ワークショップ（1回目、シートにアイデア出し、★つけ、★アイデアのまとめ）
- ⑤ワークショップ（2回目、みんなにできることのアアイデア出し、グループ発表）
- ⑥感じたことのシェア、まとめ
- ⑦事務連絡・閉会

#### 2) テーマ

①”行キタイ”増しまシ！KIRISHIMASHI
②環境をつなごう・生かそう、100年先へ
③住み心地、最高のまちへ
④大人も子どもも、学び合える毎日へ
⑤市役所、もっと身近にもっと便利に！
⑥STOP！人口減少！

### (3) 参加者

霧島市在住者や市内で勤務している人 23 人

#### <開催の様子>



#### (4) ワークショップで出たアイデア

	テーマ
A グループ	“行きタイ” 増しマシ! KIRISHIMASHI

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・観光資源として山・川・温泉だけでなく、海を活用するため、下井海岸を「キリシマビーチ」として、プロジェクトを立ち上げる。具体的には、オープン日に向けて有志による清掃活動やソフト整備を進め、その後 SUP・観光船などのハード整備を進める。
- ・観光客の移動手段を充実させるために、空港等からタクシーで移動する際にドライバーによる観光ガイド（地元精通した運転手ならではの店・スポット紹介）をしてもらう。
- ・地元ならではの観光情報を提供するために、マイクロツーリズムマップを配布する。
- ・霧島市の魅力について市民に理解・発見してもらうために、市民と観光客が一体となって楽しめるイベントを開催する。
- ・既存の地元の祭りに観光客をもっと巻き込むために、1市6町の祭りの日程を合わせて一大イベント化する。

まとめ			
	★の数	ブレインライティングで ★が3以上のアイデア (★が多い順に書き出す)	左のアイデアについて、 一人一人「みんな(※)ができること」 ※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	4	【資源の活用】 山・川・温泉だけでなく、海の活用を進めるため、下井海岸を「キリシマビーチ」として活用する	●キリシマビーチプロジェクトを立ち上げよう ・Openの予定日を決めた取組 ・まずは有志の清掃活動などから ・清掃活動などソフト整備の後に、Sup・観光船などのハード整備
2	3	【移動交通手段の充実】 観光地までの移動手段充実のため空港等からのタクシードライバー+αの機能を持たせる	●観光情報がほしい(特に地元ならではのもの) ～できそうなこと～ ・マイクロツーリズムマップを配る ・タクシー運転手の人の地元ならではの店紹介やスポット紹介(地元の道や人、もの、ことに精通しているタクシー運転手さんのガイドはベストマッチ)
3	3	【住民の地域魅力理解】 ・霧島住民にも霧島の魅力浸ってもらいたい ・市民・観光客が一体となって楽しめるイベントをつくる	●元々ある地元のお祭りにもっと観光客などを巻き込めないか? ～できそうなこと～ ・1市6町のお祭りを日程合わせて開催して一大イベント化



ブレインライティングで★がついたアイデア					
項目	数	項目	数	項目	数
隼人港～国分の下井海岸を「キリンマビーチ」としてワクワクする場所に。遊覧、SUP、ボートなどを実施。	4	市民、観光客が共に楽しめるモノ	2	ロコミ等で行った時の特典	1
タクシードライバーさんにたくさんの機能をもたせ運転+αの機能を。人材育成に対する資金面での支援。	3	ポイントカードを作る	2	観光のときの利用だけでなく、日帰りで利用できる何か	1
観光に来た方が体験型の市民と一緒にできるイベント	3	遊覧船ルートの確立。魚や桜島のロケーションも考えられたルートが良い。	2	日帰り券の発行	1
案内アプリ、SNSでの発信	3	空港から観光地への直通便	2	海水浴以外でも海を利用できないか？	1
各ガイドさんの研修・勉強会の実施	2	観光地のポイントをおさえ、いくつもの直通便を作る	2	空港からのアクセスを確立する	1
ユニバーサル・デザインを考えたトイレ・ガード手すりなどの設置	2	マップと映像での案内。加えてそのオススメでグッズなど	2	龍馬専用の案内書を市民へ配布。ルート・写真・紹介記事	1
雨の日も楽しめるように、雨具に霧島のアートやデザインを取り入れる	2	夏は海水浴、冬は星空を眺める(砂浜で)	2		
GPS、QRコードでの現地説明(スマホへ)	2	タクシー等の無料化・各ガイドさんの充実	1		
魅力あるモノをつくる、育てる(箱モノ以外)	2	タクシー運転手が得できる仕組み	1		
食・環境・人の魅力発信	2	自然現象(雨)なども楽しむ様な(子供目線)	1		

ブレインライティングで★がつかなかったアイデア		
障がい者の方も楽しく観光できるサービス	空からの観光	滝がどこにあるか、いくつあるか探す
観光地までの移動手段の充実	来訪者・市民と空港とのつながりを多くする	滝マップ+映像をつなぎ合わせ、霧島にもこんな滝があるんだとワクワクしてもらおう
天候に左右されない観光地の整備	山・川・温泉だけでなく、「海」にも目を向ける	海、マリンスポーツ体験などの整備
霧島を歩いて楽しんでもらいたい	遊覧船での海中観察	安全な海の場所を決めて遊んでもらう。
お散歩ウォークマップが必要(龍馬ウォークのような)	空港を中心とした交通網の再考	
お散歩・ウォークで何を見てほしいか(霧島の魅力)	龍馬ゆかりの地知ってもらう	
また来てもらいたい2回も3回も(外の人に)	龍馬ゆかりの地を住民にも知ってもらう	
霧島の住民も霧島の魅力に浸ってもらいたい	滝を知る・見る	

	テーマ
B グループ	環境をつなごう・生かそう、100年先へ

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・霧島市のごみ分別アプリ「さんあ〜る」をアピールして、誰でもごみを分けやすく、出しやすくしてリサイクルを促進する。
- ・小・中学校で自然保護について学び、山の中で遊ぶ機会を作り、霧島の自然の魅力に気づき、守っていききたいという気持ちになってもらう。
- ・国分の水はとても美味しいので、霧島市の水道水の成り立ちについて知ることができるパンフレットを作成・配布する。
- ・霧島市のこれからの景観についてみんなで考えるために、まち歩きなどをするワークショップを開催する。
- ・市民講座でエコに対する意識やエシカル消費に関する知識を大人が改めて学ぶ。
- ・不用品(使わなくなったもの)を SNS などで共有できるシステムを整備する(ジモティーの活用)。その際は、高齢者が終活で使えるようなシステム(仕組み)にする。
- ・道路整備が遅れているところがあるので、住民に整備してほしい道路や景観に関する要望などを聞きながら、必要などころから道路を整備する。

まとめ			
	★の数	ブレインライティングで ★が3以上のアイデア (★が多い順に書き出す)	左のアイデアについて、 一人一人「みんな(※)ができること」 ※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	3	【ごみについて】 だれでも分けやすい、出しやすいリサイクルに	●3Rアプリ(霧島市)をアピールして、分別をしっかりする
2	2	【教育について】 自然保護教育(小・中学校)	●(地元の)山の中で遊ぶ機会を作る ●(霧島の)親しみ残したいと思う魅力に気付かせる(気づいてもらう)
3	2	【地域資源について】 国分の水は大変おいしい 大事にしてほしい	●(霧島の)水道水の成り立ちについて知ることができるパンフレットを作る(配る)
4	2	【景観について】 景観をどうしたいか、みんなで考える	●(市街地の)景観を楽しむワークショップをやってみる(国分の街中、街歩き)
5	2	【人材育成について】 大人のエコ・エシカル教育	●市民講座で再教育(エコに対する意識やエシカルに関する知識を改めて学んでもらうよう)にする。
6	2	【環境整備について】 ・不用品情報の共有システムの整備 ・SNS等共有システムを作る(ジモティーの活用) ・終活について考える	●高齢者でも使えるシステム(仕組み)を作る
7	1	【道路などについて】 必要な所から道路を整備する	●地域の方の(整備してほしい道路や街並みなどの)話を聞く

ブレインライティングで★がついたアイデア					
項目	数	項目	数	項目	数
誰でも(ゴミを)分けやすい出しやすい。リサイクルに出す)	3	自然保護教育(小中学校)	2	建物の壁は緑化できない	1
高齢者が人と会える場所と機会をつくる	2	高齢化が進んでさみしい	1	自然保護教育を通じて自然を守っていききたいと思う魅力に気づいてもらう	1
不用品情報を知ることができるSNS等、共有システム作る	2	必要な所から道を整備する	1	山間部に太陽光メガソーラーが設置されていて景観が壊れる	1
学校でエコ・エシカルについて教育する	2	ゴミの減量	1	メガソーラーを見た事がない。気が付かない。	1
特に中心地で、景観をどうしたいか、みんなで考える	2	必要以上のものを買わない	1	ビニールゴミの減量	1
国分の水は大変おいしいとの事。大事にしてほしい。	2	景観を守りたい人の意見を集める会をする	1	自分のゴミは各自が始末すること	1
ゴミを出さない暮らし	2	(行政の緑化だけでは資金が足りない) 民間の緑化にインセンティブをつける。	1	ゴミを持ち帰りとなる仕組み(回収ポイント制など)	1

ブレインライティングで★がつかなかったアイデア

(高齢者が)人と会える場を増やす	国分においてビルの建設が多い。必要あるか。	リサイクルセンターを利用している
各地区で高齢者が集まれるカフェを作る	市街地の緑化	ゴミの始末は自分でもやる
老人クラブで活動や戸別訪問でふれ合いを増やす	おいしい水をずっと飲める	(メガソーラーは)電力供給で問題がないと思う
横川において町道の整備が遅れている所が多い	山間部の開発規制(メガソーラーなど)	持続可能なエネルギーについて全員で考える会をつくる
通りたくなる道路を作る	リサイクルの徹底、消費(エコなものを買う)	登山のルール、ゴミの持ち帰りの徹底。自然の教育
通学路のガードレールを作してほしい	リサイクルセンターをもっとたくさん作してほしい	
整備の進んでいないところから早く建設してほしい	美しい森林を楽しめる	
高い建物(ビル)の制限	ゴミの分別、リサイクル不十分	

	テーマ
Cグループ	住み心地、最高のまちへ

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・家具がそのまま残っている空き家があるので、定期的に譲渡会を開いたり、メルカリで出品、リメイクしてオークションに出品できたりするようにする。
- ・まちなかを歩行者天国にして人が集まる道・場所をつくる。歩行者天国でごみ拾いやフリーマーケット、イベントを開催する。
- ・移動コストゼロのまちを目指し、飲食店や観光名所がどこにあるか分かりやすく伝えるために、SNS等で共通のハッシュタグを付けて市民みんなで作る。また、市内の様々なところにマップを置く。

まとめ			
	★の数	ブレインライティングで★が3以上のアイデア(★が多い順に書き出す)	左のアイデアについて、一人一人「みんな(※)ができること」※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	4	【空き家について】 「空き家問題」(荷物など)	(個人) 課題: 空き家に家具が多く、空き家のままという現状がある。 行動: 定期的に譲渡会やメルカリで出品、リメイクしてオークションに!
2	3	【暮らしについて】 人が集まる道、場所を作る! 歩行者天国!	(個人) 歩行者天国でゴミひろい、フリーマーケットの開催 (会社・市) 歩行者天国のイベントの企画、イベントの日数を増やす!
3	3	【経済活動について】 飲食店や観光名所の場所を分かりやすくする (移動コストの低減の観点)	(個人) #(ハッシュタグ)つける! マップのアップデートに参加する! (会社・市) (市内の)さまざまな所にマップを作る!

ブレインライティングで★がついたアイデア

項目	数	項目	数	項目	数	項目	数
(イベントなどを)子供や孫世代がSNSで拡散。 空き家でオバケ屋敷。 空き地で花火大会。	4	(渋滞のないまちを目指し)環状交差点を増やす	2	空き家を改築してテレワークや勉強などができるような施設をつくる	1	(市営住宅などを)定期的維持管理	1
床(や道路)が動けば良い、乗り物はいらぬ。コンペアタウン。	4	全天候型の遊び場を作るとても大きいサイズで!	2	まちなかでWi-Fiの使える環境整備	1	(どこに行くか分かりやすいよう街のいたるところにマップを置き、)高齢者にも対応できるようにする	1
個人でなく市が準備する広大なワークスペースでビジネスコミュニケーション。	3	(空き家の荷物は)リメイクしてオークションに出品する	2	常時散歩道となりうる	1	地下道(商店街)の壁に霧島にちなんだ絵をたくさん描く。(SNS映え)	1
まちなかはいつも歩行者天国にする。 人が集まりやすいと思う。	3	家賃補助。市営住宅の入居のハードルを低くする。	2	目玉施設を多く(作る)	1		
(空き家の荷物を)若い方がもらって、メルカリなどに出品して良いようにする	3	(子供たちの安全を考慮して)地下に商店街を作る。	2	子供や若い方がデザインコンテストで競い合って住みたい市営住宅を作る	1		
定期的に(空き家の)家具などの譲渡会を色んな地域で開く。	3	(地下)商店街以外にシェルターとしての利用	2	お城みたいな住宅を作る	1		
どこに行くか分かりやすいよう街のいたるところにマップを置く。(飲食店や観光名所など)	3	(循環バスを運行して)無料で乗車可	1	バス停(の整備) バスのデザインをおしゃれにして「乗りたい」と思わせる	1		

ブレインライティングで★がつかないアイデア

空き地でイベントをする	(渋滞の解消のための)車が「せーの」で動けば渋滞なし 信号に依存しない交通ルール	近代的市営住宅(を建設する)	(市営住宅の)家賃を無料にする
町内居住者主催で町内会への周知	交通便利地で環境良好	(市営住宅を子どもや若い方がデザインし)デザインをもとに有名な建築家に依頼し建てる	移動コストゼロのまち
子供たちも積極的に参加できるよう、50円、100円くらいで楽しめるイベント	道路に緑を増やす(街路樹など)	私有車とバスの兼合い	(地元商店街のマップなど)QRコードを用いて携帯で分るようにする
循環バスがあればいい	(渋滞の解消のための)道幅を広げる	市民の移動が共有されて「一緒に行こうぜ!」となるシステム導入	全部地下道(子供たちの安全を確保)
横断歩道の自動化。赤になったらフェンスが出てくる、青になったら道が動く。	夜中でも明るくする。街灯を増やしたい	無人システムのバスの運用	
渋滞のない町	大きいアスレチックのような公園を作る。休みの日に遠くから遊びに来られるような。	空き家の荷物(の解消)	
(渋滞の解消のための)通行止めや、道中拡張	テーマパークを誘致する	居住コストゼロのまち	



	テーマ
D グループ	大人も子どもも、学び合える毎日へ

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・オンラインで高齢者施設と学校をつなぎ、高齢者が地域のことや歴史・文化などを語る機会をつくり、子供たちは自分たちのふるさとのことが学べる環境をつくる。
- ・学校の先生に移住者など外部から招き、シャッフルする。
- ・行政が主導で公設民営の学校をつくり、オンラインで大人も子供も関係なく誰でもいつでも学べる環境をつくる。行政は民間企業を継続的に支援する。
- ・インターンや研修を受けた講師を増やし、先生以外の人たちが気軽にかつ継続的には入れる仕組みをつくることで、学校にいろんな人が入りやすくなる。九州各地（特に熊本市、田川市）にモデルがあるので、参考にする。
- ・霧島市の文化などを学ぶツアーをオンライン・オフラインのハイブリット型で行う。
- ・市民講座やイベント、研修会の情報を知るためのアプリ（プラットフォーム）がほしい。イベントや研修会を通じて多世代が学び合い、交流できる。
- ・教員不足問題を解消するため、特認校を中心に学校の先生のサポートシステムを導入して仕事の負担軽減を図る。
- ・「開かれた学校」を目指し、学校を見える化する。
- ・地域の祭りや郷土料理など文化を知るオンライン文化祭を開催する。オンラインにすることで世界中とつながれる。
- ・市内の企業などで働く人に講師になってもらい、その企業の仕事などを伝える市民向けのオモシロ講座を企画する。企業・会社・地域の拠点になり、行政がハブになって継続的に支援を行う体制が取れたら広告・宣伝にもなる。

まとめ			
	★の数	ブレインライティングで ★が3以上のアイデア (★が多い順に書き出す)	左のアイデアについて、 一人一人「みんな(※)ができること」 ※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	4	【民間の力を借りる】 高齢者があつまっている事業所と中継ができる といい 語り部、ネタ多い	●多様な人・カタチがあって選べる状況が理想 ●個人は「やりたい！」「知りたい！」「伝えたい」という思いを近い人へ伝えていく(自ずと) ●学びはつながっていく、必要だと感じる環境を
2	4	【人材育成】 学校の先生のシャッフル	●外部からいれる、移住者などもいるがメリットを強調する(選ばれない理由をきちんとサポートする)
3	3	【公設の学校】 行政が主導で公設民営の学校をつくりオンラインでも誰でもいつでも学べるように	●行政ハブになって民間のものも情報を持ち、支援し、継続的にできるように
4	3	【外の力を借りる】 先生以外の人たちが気軽に継続的に入れる 仕組みづくり	●インターンや研修を受けて講師が増えていけばいい。モデルは他県にある(九州各地、特に熊本市・田川市)
5	3	【DX化】 オンライン・オフラインのハイブリッド 文化を知るツアー	●オンラインのメリットをきちんと知ってもらう(「つながる」ための一つの手段、きっかけになる、オフラインにつながる事例も)文化に触れる・知るきっかけを増やす
6	3	【情報発信】 イベント・研修会など情報を知るためのアプリ (プラットフォームほしい)	●学び合い、世代を超えてできるようになる ●LINE市民講座も必要だと感じて参加したくなる →環境がある→感動する→また次のやりたい学びになる
7	2	【サポート体制】 サポートシステムの導入で学生など先生を支える仕組みをつくる(特認校から試す)	●サポートスタッフ入っているけど足りていない。予算が必要。特支のサポートは増えてるけど…担任サポートが必要。 参考:・TFJ(NPO)/lightful(一社)/Lx Design(株)など
8			●学校の中を見える化する。「開かれた学校づくり」の本格
9	1	【地域のことを知る】 オンライン文化祭で地域の人を知る	●世界ともつながれる(地域→地球)、体験した「スゴイ」という感覚を味わう、学びの欲求をかきたてる！ →身近に置く、当事者意識
10	1	【支援体制】 企業・会社・地域の拠点など 市民向けオモシロ講座を企画	●企業・会社・地域の拠点になり、行政がハブになって継続的に支援を行う体制が取れれば広告にもなる。

ブレインライティングで★がついたアイデア					
項目	数	項目	数	項目	数
学校の先生のシャッフル (色んな先生がいるな！うちの先生 いいな！教科担制のような)	4	霧島市の企業、全部にその(学べる 拠点の整備)役割をせよ。市民 向けに企業の特徴のオモシロ講義 を企画する	3	eスポーツイベントをする。体育 館で、大人も子どもも老人もみ んなでゲームする。それにワークシ ョップを加える。テーマそれぞれ	1
高齢者が集まっている福祉事業所 (学校との)中継でやると良い。(高 齢者の)語り部は豊富、ネタも多い。	4	(市内の歴史的なものをスタンプ ラリー形式で発見するのは)学校だと 社会科や総合、国語など授業として 実践可能ですが…(なんでやらない の?)	2	オンラインでもオフラインでも気軽 に情報交換できるプラットフォーム があるといいかな？(本来は市役所)	1
(霧島の文化を知るツアーの)オフと オンハイブリッド見学(マネタイズ 難しいな… アーカイブを残してポータル化 する)	4	興味のある人が自由に参加できる 学ぶ場があると良い。種類が選 択肢がたくさんあると良いというこ とかな	2	学校としてのつながり(小中も高も 大も)一つのつながりがあるプラ ットフォームがあると考えが整理さ れると思う	1
先生以外の人たちが気軽にかつ継 続的に(学校に)入れる仕組みづく りをする事で、学校にどんどん人 が入りやすくなる	3	既存公民館講座が初心者むけであ るので、その派生版を作ると良い かも。その講座は市が承認してい れば受け入れやすいし、子どもも 学べる講座をとりまとめて入れた ら良いですね	2	オンライン文化祭に郷土料理や特 産品をくっつけて売る。	1
(子供の発表の場として)オンライン 文化祭をYouTube配信 する。予選・決勝などつくてバトル にしてもいいかも？	3	(学校の先生のブラックを解消す るために)サポートシステムを導入 して副担任の様な方を採用されて は？学生でも良いのではないでし ょうか、先生は難しいですかね	2	(市内の歴史的な場所について)道 順・地図を作製、掲示してスタンプ ラリーにしたら自然と覚えていく かもです。知らないものは書き足 す、言い伝えや歴史なども	1
(霧島市で学べるイベントや研修会 を情報発信するための)DX化 自分の興味のあることを登録する ことで、自動的に情報が流れてく る仕組み(アプリ)をつくる(知る 機会を増やす)	3	(学校と企業の交流や場所作り)企 業はCMIにもなるので良いのでは ？小中高は未来の仕事を決める のにそういう現場を求めていると 思います。もっと職場体験をさせ てそういうアミューズメントを作 ってほしい。	2	霧島市の企業・団体も研修や採 用時に地域とのつながりを知る ためにもやるようにするとい い	1
行政主導の公設民営の学校以外 の学校の設置 オンラインでいつでも誰でも大人 も子どもも関係なく好きな時間 に学べるようにする。	3	学校を公民館的に位置づけて、 点として考えて他方とも協力連 携する	1	外に出ないと見えないことがある ので、他市と対決形式できっか けを作り(学びたくなる仕組み をつくる)。霧島認定ですね	1

ブレインライティングで★がつかなかったアイデア

<p>・学校の開放を簡単にできるようにする ・図書館、プール ・体育館、資産のあるものの有効活用、地域に</p>	<p>オフラインでの学び(地域の人から聞く話)</p>	<p>昔からあるバスツアー 東京のはとバスのように企画をバス会社、観光会社とすると良いかも。原口泉先生がしているような先生同伴で学べるツアーか選べると良い。</p>
<p>先輩、卒業生がつながりを知ると良いと思う。「学校」がその地域でどのような立場、役割、機能が果たせるか、歴史を知れると良い。</p>	<p>老人の方々も、スマホを持ち始めているので、使い方講座やアプリの紹介をする。それを教えるのは子、孫世代で学校講座を開講する。</p>	<p>資格を教える資格を市が独自に認定すると良い。話題性。先生に限らず、教える人、ひびく人はいると思う。</p>
<p>その学校が設立した当初、町はどんな顔だったのか、まちの歴史を学べる何か。</p>	<p>GIGAスクール構想により1人1台タブレットが配られているので学校に高齢者をお招きして子供と一緒に学ぶ！</p>	<p>自分の心の底から面白いと思える「もの」や「こと」をきっかけにする。与えられるだけでなく、前のめりで学びたい組になる仕組み</p>
<p>(学校を公民館として活用する場合)どんな協力があったら嬉しいかなあ？公民館でどんなことができそうかなあ？</p>	<p>呼び込み、DM等 何を学びたいか50種類から選べる(仕事の、趣味的など、NHK文化?)</p>	<p>(学校の先生のブラック解消のため)ワークショップを開催する。役割分担を明確化して先生じゃなきゃダメを無くしていく。他の人でも良いじゃんにしていく</p>
<p>(学校を公民館として活用する場合)公民館としての役割は集めて映画見たり、ラジオ体操やったり、それ以外に楽しいことをする。</p>	<p>知る機会が増えるように霧島市で学べるイベントや研修会なんかの情報がまとまっているサイトがあるといい</p>	<p>例えば職人のベテラン、一日体験でも物作りがどう行われるか現場の空気感を体験できる</p>
<p>・小中高の協力体制、情報収集を子供たち、親たちができるようにする</p>	<p>(霧島市で学べるイベントや研修会の情報を載せる)サイトを知ってもらって広報活動や(インスタグラムやツイッター)若者向けだけでなく、大人世代に向けてのアピール</p>	<p>学ぶとは何か？勉強とは何か？など、学校では学べないことを学べる地域の拠点があれば良いなあ。</p>
<p>子どもが地域のイベントやお祭りを通して得た知識を大人に教える</p>	<p>市報の内容を今以上知ってもらえるように電板をPC、インターネット上にのせて検索できるようにすると探さなくても済む</p>	<p>この企業ってこんな事やってるのか！という新しい気付き、発見</p>
<p>子どもが知っている知識を大人へ、親だけでなく、披露する場があれば良いかも。 ・掲示板ではさみしいので、発表する場が必要、それは学校。</p>	<p>文化を知るためのツアーがあると良い。移動の不便さとかも味わって気づきを得ると良い</p>	
<p>道端にある歴史的なものの発見する(隼人塚、西郷どん宿など)</p>	<p>バス旅(不便さを楽しむために、目的地のみでルートは自由に探せる)</p>	

	テーマ
E グループ	市役所、もっと身近にもっと便利に！

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・市役所をもっと身近に、もっと便利にするため、職員の人材育成をする。
- ・人材育成の具体的な内容として、民間企業に出向しておもてなしの精神を学ぶ、民間企業から情報分野などの専門人材を受け入れる、職員のスキルの底上げ、市職員の人事評価ではチャレンジすることを評価する、市職員で農園を経営してみる（雇用にもつながる）、民間企業のチャレンジを応援する（ふるさと納税の返礼品に採用する、市役所の壁に絵を書いてもらい、親しみを持たせる）。
- ・市 HP の分かりにくさを解消するため、市民に意見を聞きながら見やすく・分かりやすい HP をプロに制作してもらう。
- ・市 HP で分からないことをすぐ調べられるようにフロー図化する。
- ・情報発信のツールを世代に応じて使い分ける（LINE、Twitter、Facebook など）。
- ・広報誌をペーパーレス化し、読みたい人は購読できるシステムにする。
- ・霧島市全域に公共の Wi-Fi を整備する。

まとめ			
	★の数	ブレインライティングで ★が3以上のアイデア (★が多い順に書き出す)	左のアイデアについて、 一人一人「みんな(※)ができること」 ※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	4	【人材】 もっと身近にもっと便利にするため(職員の育成のため)人間味のある市役所	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民間企業に出向いておもてなしの精神を学ぶ</li> <li>●民間から入れる人材…専門人材(情報・人材)</li> <li>●スキルの底上げ・石の上にも3年</li> <li>●チャレンジを評価！加点、チャレンジで給料up！ やってもやらなくても…ではダメ。事なかれ…</li> <li>●職員(市で)の農園(多種)経営→雇用にもつながる</li> <li>●民間のチャレンジを応援→ふるさと納税 お肉</li> <li>●市役所の壁にアート、親しみ</li> </ul>
2	4	【情報発信】 ・市のHPわかりにくいをなくすため ・見やすい、分かりやすい市の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>●HPをプロに作成してもらう →市民の意見の反映</li> <li>●ツールの多様化(LINE・SNS)世代に応じて(使い分ける)</li> <li>●広報誌のペーパーレス化→必要な人は購読(手上げ)のようなシステム</li> <li>●調べやすいフロー図化</li> <li>●全域公共Wi-Fi</li> </ul>
3	4	【手続き】 ・市役所の手続きを楽にするために 「書かない、行かない、待たない 市役所」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マイナンバーカードで紐付けできるなら手続きを簡素化できる(窓口たくさん書かされる)→そもそも登録が大変→代行</li> <li>●手続きを手元で事前に行える、QRコード、24h、365日</li> <li>●毎年同じ手続き(さまざまな申請など)→継続・コピーできる</li> </ul>

ブレインライティングで★がついたアイデア							
項目	数	項目	数	項目	数	項目	数
・マイナンバーカードを家族(世帯)で紐付ける ・カードの情報から市が手続きをする(一度提出したら、本人は確認のみ)	4	(ウェブ申請や手続きについて)利用できるよという分かりやすい方法をホームページ他で公開できるようにしてほしい	3	・webで可能なものはwebで作る ・継続申請みたいなものを作る	2	クリエイティブな職員が集まるような環境にしては？フリーデスクなど。	1
・(申請書など)ダウンロードできるようにする ・市にネットワーク技術者を採用する ・電話予約できるようにする	4	民間企業等などの人材交流 おもてなしの精神醸成	3	SNSの活用 ・LINE ・ツイッター ・フェイスブック	2	市の人があつねて行くとやってくれるようにする(代行して手続きをしてくれる)	1
企業に3年以上出向する(石の上にも3年)	4	市職員のチャレンジを評価する仕組みを作る	3	・(SNSの活用を)プロに頼む ・若者のアイデアを募集する ・ツールを使う(LINE他)	2	(マイナンバーカードの申請を)役所が遠い人にも細かな対策を。代行手数料とれないのかな、選挙会場等に申請会場作る。	1
・(まちの情報提供手段として)LINEなどを用いる ・市全域に整備されているブロードバンドシステムを最大限活用して!	4	世代別で何をホームページに入れてほしいか(などの)デザインをアンケートで聞く	3	LINEでお得情報があると子育て世代は嬉しい	2	・市職員の教育プログラムを公開する ・別の課が重なる案件は決定権を持つ課を決める	1
ご用聞きだけでなく、市役所職員も自発的に動く	3	・企業と連携する ・市から企業に声をかける	3	・困っている人いるのに「役所の人座ってるなー」と思うことがある ・案内の人も場所も遠い気がする	1		

ブレインライティングで★がつかないアイデア		
・役所の仕事(サービス)が見えない	(幼稚園や子ども手当の申請を)マイナンバーカードでどうにかできないのか？	市のHPをもっと見やすくしてほしい
市が何をしてくれるのか教えてほしい	市役所で書類をもらうとき時間がかかるのでオンラインなどでできるように教えてほしい	(市HPを)プロに依頼する。市民の意見を聞く
・(市役所を)いつでも利用できるようにしてほしい ・24時間オンライン(対応)にほしい(アマゾン)	(市役所で書類をもらうとき)事前予約ができる(ようにしてほしい)！オンラインできなくても…	現HPを利用し、市民から意見を集めて、デザインや仕様を見直す
住民票変更等も変更だけであればweb申請可能では？(リスク次第)	市の広報 ・PR活動 ・市民への周知方法	霧島市の企業が出しているイベント、お得なクーポン情報がほしい
今でも(手続などウェブで)利用できることがあるなら知りたい	LINE(公式アカウント)作って欲しい	企業も中小企業など大企業に頼らない商工業の育成
サービス精神が少ない(杓子定規)	企業・まちとの連携(県外ではなく、県内・霧島企業と連携)	霧島市のコインなどがあると楽しい。お店でそのコインを使って買い物する！！
マイナンバーカードの申請の手続きが難しい	連携？おまつりなど協力してほしい！！課同士がもっと繋がって欲しい	生活に関わるまちの情報提供、休日診療病院など(がほしい)
申請方法をコンビニとかにも提示、申請場所を市役所でない所などもする	・市職員の「まちづくり」に対する意識を知りたい ・横の組織ってあるの？	(まちの情報を提供する)プロに頼みアプリを作る。情報を集める仕組みを作る
幼稚園や子ども手当の申請を簡単にする	職員の育成 ・市役所のみでいいのか？ ・民間のように融通の効いた仕事	

	テーマ
F グループ	STOP! 人口減少!

<ワークショップで出たアイデアまとめ>

- ・霧島の住みやすさをアピールしやすくするために、SNS でアカウントを作成し、アンバサダーが霧島に住んで良いところなどを投稿する。SNS は行政または企業が管理し、運用ルールを策定する。
- ・霧島で働く選択肢を増やすため、リモートワークを推進する。具体的には、家にリモートワークのスペースを作る場合、市から工事費を補助したり、家を取得しやすくする、Wi-Fi を整備する、ハローワークと連携する、お試して就業できるように受入整備をする。
- ・私生活と仕事のバランスをとるために、個人としてはリモートでも働けるようにスキルアップをする、企業は多様な働き方の支援をする、市役所はワーケーション制度の推進や施設の整備など、仕事（働き方）の選択肢を増やすような取組をする。
- ・安心して住んでもらえるように住宅を畑付き、リモートワークスペース付きなど、公営・民営ともに種類を増やす。ただし、アンバサダーによる情報発信には限界があるので、行政のスキルアップに期待する。
- ・市民や、海外も含めた市外の方に霧島市の住みやすさをアピール・宣伝することで、市民には霧島市に定住してもらい、市外の方々には呼び込むきっかけにする。
- ・霧島市の観光や自然、買い物施設・病院などの居住環境など、良いところを共感し合う時間や場所をつくったり、イベントを開いたりする。
- ・霧島市に住んだり働いたりするハードルを低くする。人材登録やマッチングなど受け入れ側のサポートもあわせてする。
- ・国分・隼人地区の魅力はインフラや居・職・住が整っていることである。
- ・福山地区には海がある。住民の日常生活を発信したり、市や商工会などが中心となって地区の強み・弱みを分析し、リブランディングする。また、住民が共通して認識する課題を洗い出し、市と協働で活性化に取り組む。
- ・牧園町には山がある。湯治と薬膳のまちとして活性化に取り組む。



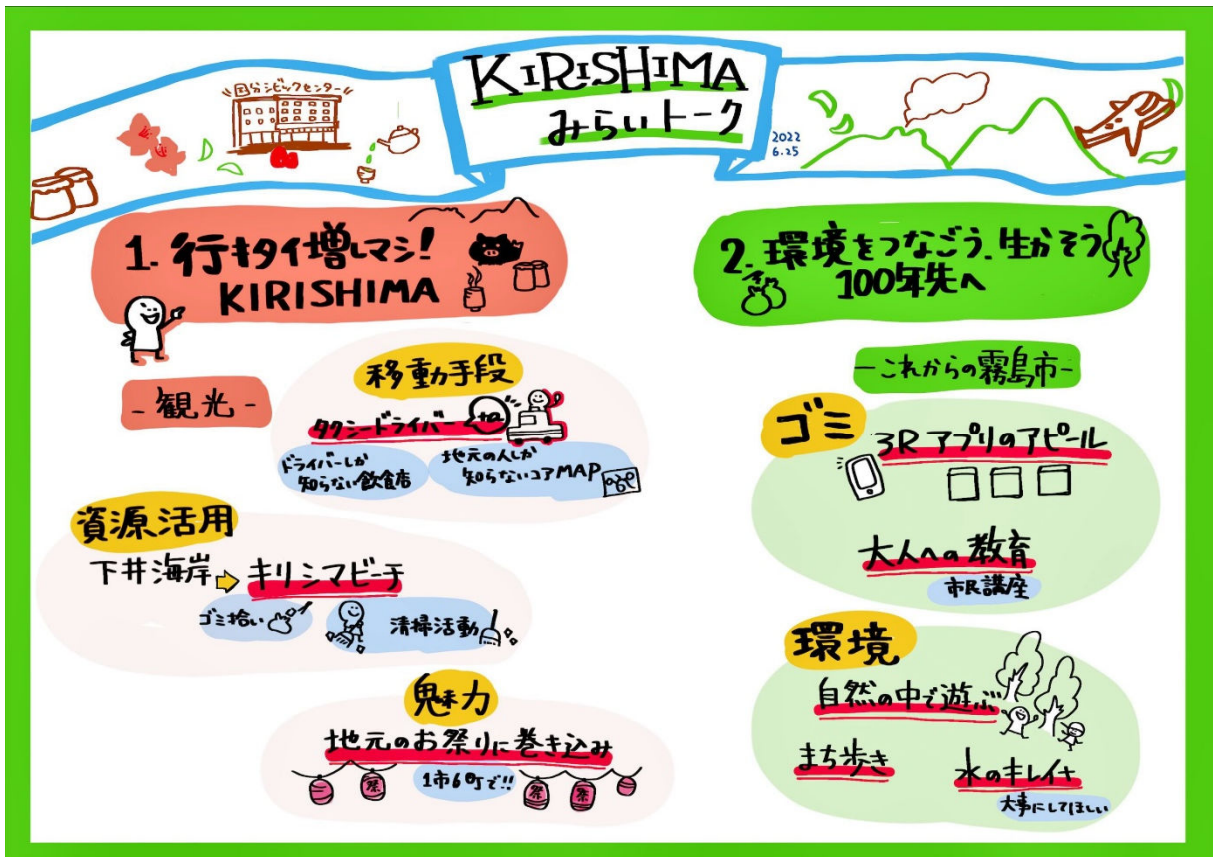
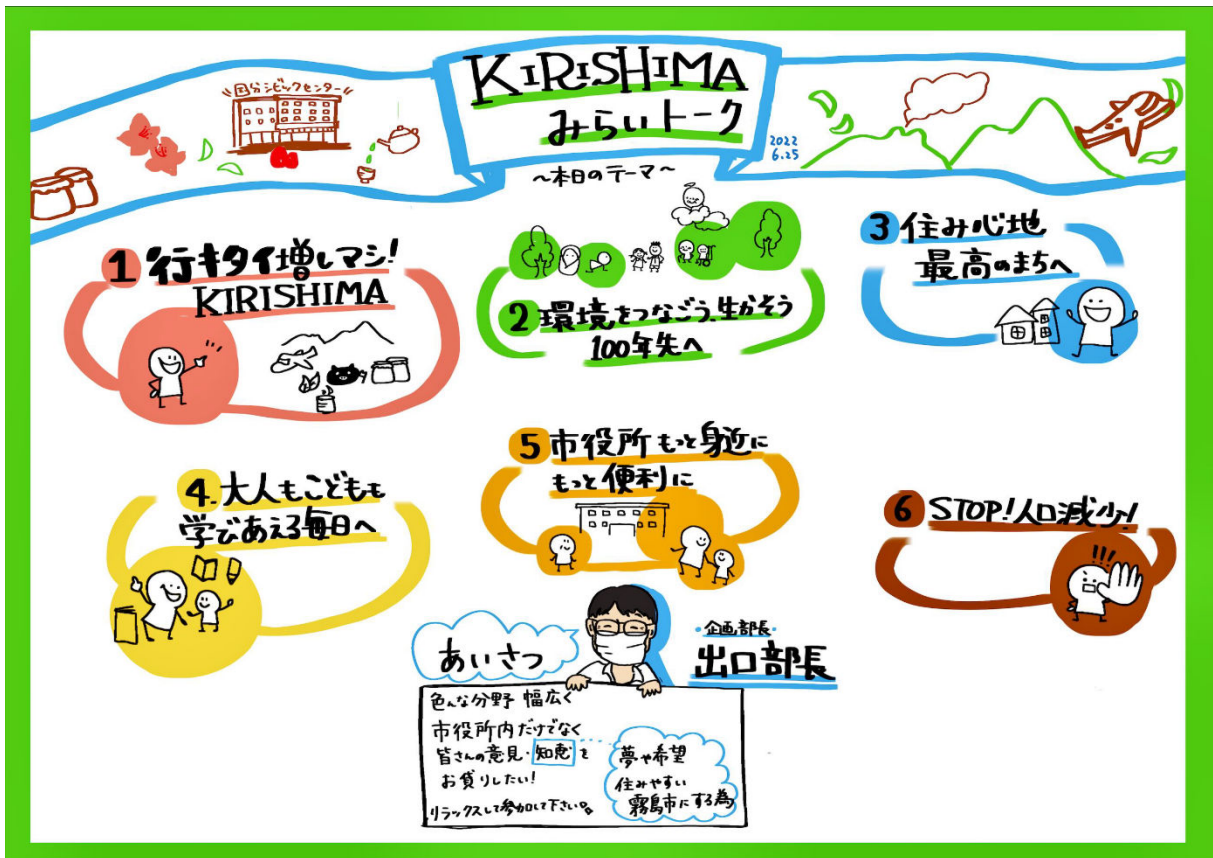
まとめ		
★の数	ブレインライティングで ★が3以上のアイデア (★が多い順に書き出す)	左のアイデアについて、 一人一人「みんな(※)ができること」 ※個人でも、会社でも、グループでもよい
1	— 【アンバサダー】 霧島の住みやすさをアピールしやすくするため、アンバサダーSNSでアカウントを作成し、何人・何団体かで共有する	●アンバサダーの1人として霧島に住んでいてこういう所が良い、こんな所が良かったを投稿する ●(管理する行政？会社？が)運用ルールを策定する
2	— 【働き方】 霧島で働く選択肢を増やすため、リモートワークの推進をする	●家にリモートワークスペースを作る(助成など) ●市外から霧島へ通ってみる先(家)を取得しやすくする ●Wi-Fiの整備、ハローワークとの連携、おためし就業受け入れ整備
3	— 【仕事とのバランス】	●個人:リモートでも働けるスキルアップ ●会社とか:支援、選択肢を増やす(働き方etc) ●市役所:ワーケーション制度、施設の整備、仕事の選択肢
4	— 【住居】 人それぞれの安心感を満たして住めるように住宅の種類を増やす(公営・民営ともに) ・畑付き、リモートワークスペース付き	●(アンバサダー)限界がある(アンバサダーSNSアカウント共有) ●行政のスキルアップに期待
5	— 【PR】 市内(今住んでいる人)、市外(海外含め)に向けて、霧島の住みやすさをアピール・宣伝する。(今いる人を留める+呼び込む)	—
6	— 【意識の向上】 観光・自然・環境・病院…今の良さを共感し合う時間・場、拠点・イベント	—
7	— 【移住受け入れ】 霧島に住んでみる、霧島で仕事をしてみるをしやすくする。人材登録、マッチング、受け入れ側にサポートを	—
8	— 【国分隼人】	●インフラが整っていること ●居職住が整っている
9	— 【海(福山)】	●個人の日常の様子の発信 ●商工会、商工会議所、市、プロデューサーによる独自性の分析 ●町のリブランディング→行政、企業、個人、福山に関連する ●人々の共通課題の掘り出しをスタート地点として市と協働で活性化に取り組む
10	— 【山】	●牧園町→湯治と薬膳のまち

ブレインライティングで★がついたアイデア

項目	数	項目	数	項目	数	項目	数
仕事・育児・家事がしやすい家の提案(不動産)	4	広く集まる事ができ選べるような場(シェアオフィスなど)が出来ると良い	3	既にある観光資源のブラッシュアップ	2	(移住後の)DIYとか改修のエトセトラとかも一緒に(教える)。そういうの好きそうな人多そう	1
住宅の近くにお店や病院などが多いと安心できる(国分の現状)	4	海・山・川があって買い物するにも不便ない。生活の便もよく癒やされる	3	大きい総合病院があったら親の面倒を見るため帰ってくるかも?	2	フェス?(若い人の集まる場所)	1
海・山エリアといった特色あるワーケーションプログラム	3	(ワーケーションプログラムを)霧島の土地を生かせるような場所で行いたい	2	田舎の良さといえばコミュニティや横の繋がりが、こういう温かさは都会になくて新鮮	2	一人暮らしの住宅を増やす	1
(サテライトオフィスを誘致する)専用の会社を作り、周りに広める	3	お酒を飲まない人も増えているしカフェとかキャンプとか趣味の繋がりがなるのかな	2	(サテライトオフィス誘致を)専門の方に任せる(手にとってが大切よ!)	1	シェアハウスかなあ〜?中山間地には一軒家ばかりで選択肢が少ない	1
行政に若者を支援する課があったら良いのに。	3	(場作り)古民家再生かねてシェアハウスもあり?福山で家探すけど一軒家かなと思う。古い家潰したくはない。景観を守る。	2	移住者と不動産のマッチング。移住相談会	1	目立つ観光所を作る	1
リモートワークで鹿児島では難しかった職種も可能に!(行政からの)スキルアップの支援も	3	ビューのいいところだとSNSでの拡散も狙いやすそう。おいしいものと一緒に	2	移住した際の手当等を付ける	1	私の場合も母の手術を機にUターンを意識し始めた	1

ブレインライティングで★がつかないアイデア		
ワーケーションプログラム制度 ・そもそも鹿児島に来たことない人が多い がご時世から行ったことないというところ にヒーリングしたい人多いから	移り住んだ地での就職支援	霧島市が好きでUターン
霧島は海に面しているので景気の良いと ころがたくさんあるよ	就職支援と住宅支援もする	霧島で好きになってもらいたい場所をア ピールし、Uターンしてもらう
リモートワークの就業斡旋	街中にシェアハウスを作って頑張っている 方がたくさんいる	住みよい地域づくり
サテライトオフィス誘致	(街中にシェアハウスを作って)どうやっ たらオープンに初めましての人も入っていき やすくなるんだろう	移住者にとって新天地へ移り住む際、物 件探しなど色々な壁に直面するので、移 住前に人の繋がりががあると安心して移住 の計画を立てられる
仕事もできる家作り	若い人の集まれる場所を作る	魅力
専業主婦だけでなく、作業も家でできると 良い	(若い人の集まれる場所を)自分でする、 どこかに頼む	海:小浜、福山 山:牧園、横川、溝辺 小都市:隼人、国分 それぞれの魅力
(仕事も家で行って)ひきこもりか?(笑) 実力をつけたい(仕事だけはね!)	便利が良いな	スーパーや病院が充実していて、とても住 みやすい
(移住の手当を)たくさんいただける方法を 探る	(目立つ観光地は) 広い方が良いな!	

(5) グラフィックレコーディング



**KIRISHIMA**  
みらいトーク

2022  
6.25

### 3. 住み心地 最高のまちへ

もの・場所

**空き家**  
荷物片がらみ → 譲渡会  
ネット全国  
リメイククワン

**まちに緑を**  
歩行者天国の回数 **増やす**  
ゴミ拾いのタミダ増  
77マ. マルシ

**移動コスト**  
どこに行けば 楽しめる? → **電子MAP**  
#4433 99付

### 4. 大人も子どもも 学びあえる毎へ

学校教育

**行政主導 公設民営の学校**

企業・会社  
オモシロ講座

**広告**

学ばたい

さらかめた学校作り  
先生以外の人が入る  
担任の先生 シンプル

**KIRISHIMA**  
みらいトーク

2022  
6.25

### 5. 市役所 もと 身近に もと 便利に

市役所に行けばどうにかなる!!

**人材育成「人間味」**  
民間企業に3年出 ぶらさし  
情報  
専門頼む

**情報**  
ツールの多様化  
広報誌のペーパレス 必要なら購読

**手続き** 書かない 待たない 行かない  
マイナンバー  
代行  
申請 必要ない

### 6. STOP! 人口減少!

住みやすさ 環境 アピール

**アンバサダー アカウント作成**  
SNSに投稿!!  
運用IL作成

魅力の発信!!

**働き方 選択肢**  
リモートワークの推進  
「おためし働き」  
ハローワークと連携  
Wi-fiの整備

## (6) 参加者アンケート結果

### 1) 調査概要

6/25 に開催した KIRISHIMA みらいトークの参加者に対して、アンケート調査を行った。

### 2) 対象者

KIRISHIMA みらいトークの参加者：29名（参加者23人、チームリーダー6人）

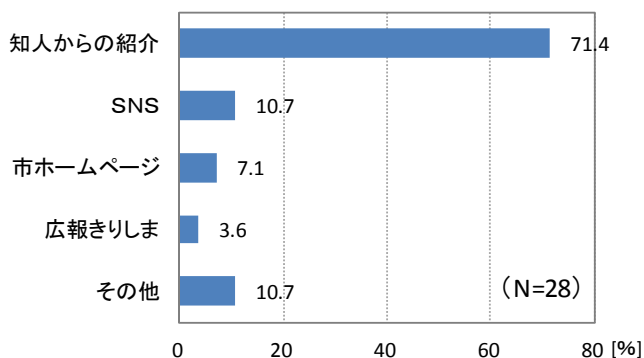
回答者数：28名（回答率：96.5%）

### 3) アンケート結果

問1. 申し込みいただいたきっかけをお聞かせください。（複数回答）

- 申し込みのきっかけについては、「知人からの紹介」が20人（71.4%）で最も多く、次いで、「SNS」が3人（10.7%）、「市ホームページ」が2人（7.1%）の順となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	知人からの紹介	20	71.4
2	SNS	3	10.7
3	市ホームページ	2	7.1
4	広報きりしま	1	3.6
5	その他	3	10.7



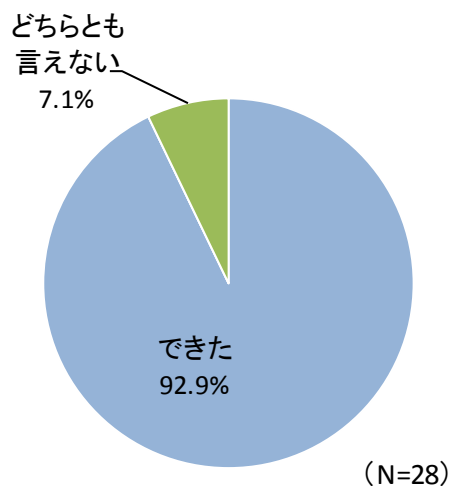
#### 【その他】

前回のお知らせ
大学の先生から
老人会

問2. 意見交換を活発にすることができましたか。

- 意見交換については、活発に「できた」が26人（92.9%）と約9割以上を占めている。一方で、「どちらとも言えない」は2人（7.1%）、「できなかった」は0人（0.0%）となっている。

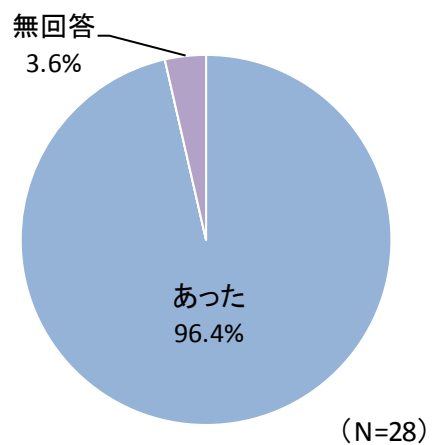
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	できた	26	92.9
2	できなかった	0	0.0
3	どちらとも言えない	2	7.1



問3. 参加されて新しい気づきや発見がありましたか。

- 参加して新しい気づきや発見の有無については、「あった」が27人（96.4%）で最も多くなっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あった	27	96.4
2	なかった	0	0.0
3	どちらとも言えない	0	0.0
4	無回答	1	3.6

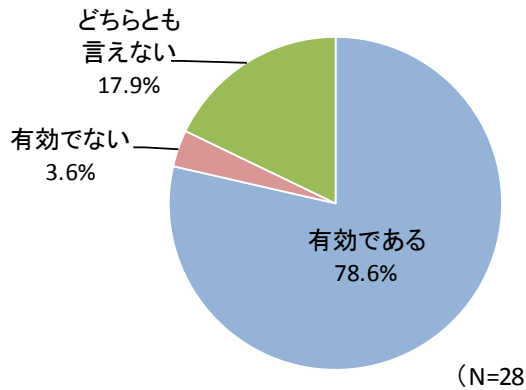


問4. 本ワークショップは市民参画の方法として有効だと思いますか。

その理由についてもお聞かせください。(任意)

- 本ワークショップが市民参画の方法として有効かについては、「有効である」が 22 人 (78.6%) と約 8 割を占めており、次いで、「どちらとも言えない」が 5 人 (17.9%)、「有効でない」が 1 人 (3.6%) の順となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	有効である	22	78.6
2	有効でない	1	3.6
3	どちらとも言えない	5	17.9



【理由】

有効である	市民の意見や要望、市の施策に対する評価等、いろいろな現状の集約に使える場だと思います。
	市民の生の声は必要だと思う。
	率直な意見が聞ける。
	私の知らないこと、アイデアがどんどんでてくる。
	市民の目線のおく場所が聞けるので良いと思います。市民の教育にもなります。
	ライティングの際、5W1Hなどの基本くらいは押さえた方がよい。
	有効にしないといけないと思う。
	様々な職種背景の人たちの議論が出来るから。
	行政や特定の者だけでなく、多分野の人が集まるワークショップは市民参画になると思う。
	いろんな立場の人の意見が聞けていいと思った。
	なんとなくの不満だったりを深ぼれたり、普段思っていることを伝えるいい機会になった。
	自分が考える事には限界があると思う。しかし、他人と意見を交換する事によって大きくより広く考える事ができると思うから。
	直接市民の意見を吸い上げる事ができる。
	生の声が聞ける（匿名性がある）ので、意見が出やすいのではないかな？
	世代や価値観をこえて話す機会であった。
	記録が残る。
市民が参加して、グループで意見交換ができることで、よりたくさん意見やアイデアを生むことができるから。	
市民の声を行政に活かしてほしい。	
柔軟な考え方に引き込まれる。	
どちらとも言えない	人数と集客方法に偏りがあるため、市民参画と言って良いのか難しい(数が稼げない)。
	本当に市政に役立つか疑問 (結果がわからない)。
	2回ではなかなかまとまらない。
	短時間では難しい。

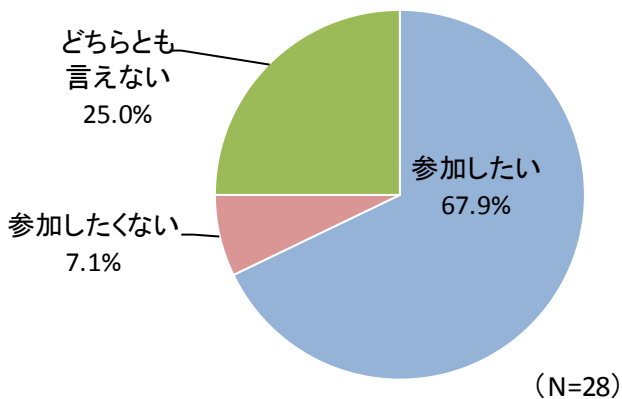


問5. 今後もこのような市民参画の機会があれば参加したいですか。

その理由についてもお聞かせください。(任意)

- 今後の参加意向については、「参加したい」が19人(67.9%)と約7割を占めており、次いで、「どちらとも言えない」が7人(25.0%)、「参加したくない」が2人(7.1%)の順となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	参加したい	19	67.9
2	参加したくない	2	7.1
3	どちらとも言えない	7	25.0

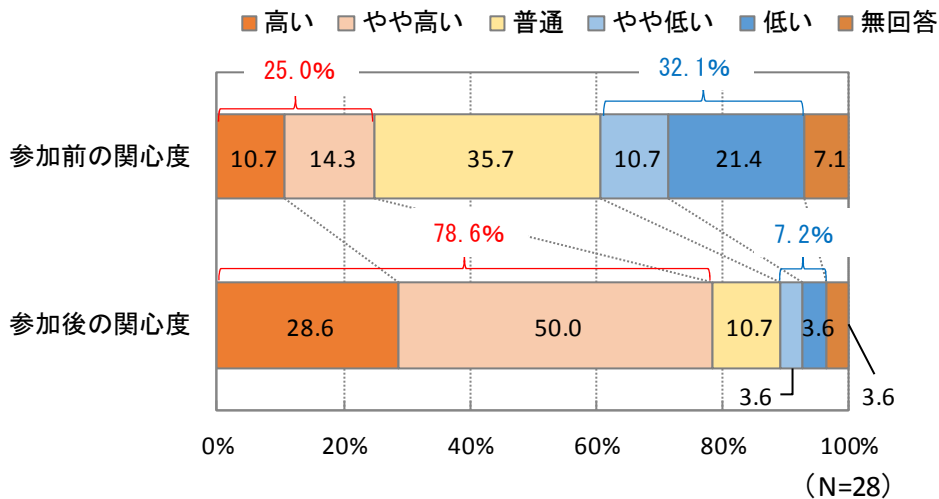


【理由】

参加したい	住みやすいまちづくりをしたい。子供が困らないようにしたい。
	このみらいトークがいろんな事で役に立つといいですね。
	色々な人の意見が聞きたい。進め方も勉強になりました。
	色々な年代の価値観を知ることができて良かった。
	霧島市の現状と自分の専門分野を照らし合わせ、何ができるかを考えていきたい。
	知らなかったことや、アイデアを知れるため。
	他の人の意見、特に立場や年齢の違う人の話も聞けて、すごく勉強、刺激になった。
	普段考えない事について考える良い機会になるから。
	自分の卒業研究のヒントになることがたくさんあったから。
	いろんな意見が出ていいと思う。
参加したくない	発想について行けない。
どちらとも言えない	もっと若い人、特に子育て世代の参加。
	スパンが長いので、こまめに開催されるとモチベーションが保てるのではないのでしょうか。
	場の設定による。
	若い人の表現が難しい。

問6. 本ワークショップに参加前と参加後の「総合計画」への関心度をお聞かせください。

- 「総合計画」への関心度については、**参加前**は、「普通」が35.7%で最も多く、『高い』（「高い」と「やや高い」の合計）は25.0%、『低い』（「低い」と「やや低い」の合計）は32.1%となっている。**参加後**は、『高い』が78.6%まで増加し、『低い』は7.2%にとどまっている。



【参加前】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	高い	3	10.7
2	やや高い	4	14.3
3	普通	10	35.7
4	やや低い	3	10.7
5	低い	6	21.4
6	無回答	2	7.1

【参加後】

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	高い	8	28.6
2	やや高い	14	50.0
3	普通	3	10.7
4	やや低い	1	3.6
5	低い	1	3.6
6	無回答	1	3.6








問7. 本ワークショップへのご意見や総合計画策定に向けたご意見等ございましたらお聞かせください。

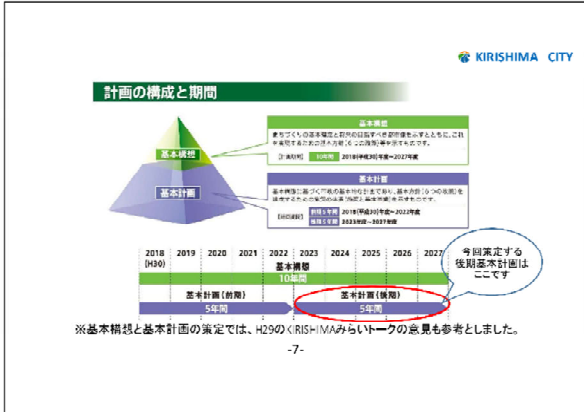
自由意見【ご意見・ご感想】

1	2回とも参加させていただきましたが、2回目の方がテーマも決まっており、事前に自分自身考える事ができていたので、非常に深い議論が出来たと思います。定期的（1年ごと）に開かれていくと、次に活かせると感じました。
2	本日の話の内容が、計画にどのように反映されるのか楽しみです。難しいこともあるかと思いますが、市民の声が届くとよいまちになると思います。
3	市の職員もワークのメンバーに一市民として入ったほうが意欲向上につながると思う。
4	すばらしいリーダーがいてくれて心強かったです。
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光を増やすためにはメタバースが有効だと思う。</li> <li>・人口を増やすためには仕事を作り出す事が必要。仕事がないと人はそこで住めない。（リモートワークも可）</li> <li>・市職員の評価にチャレンジを評価するように減点制をやめるように。</li> </ul>
6	市民参画の話し合い、意見を吸い上げる場が随時あると良いですね。またの機会があれば参加したいと思います。
7	おつかれさまでした。霧島市をもっとよりよくしていきましょう！
8	担当課や市役所内で閉じて終わるのではなく、アイデアは公開してほしい（今日のアイデアは、宝の種だと思う）。総合計画にうまく反映するだけでなく、議会、地域、企業など、様々な力を借りて、良い市にしていきたい。
9	霧島市に興味を持つきっかけになった。霧島市を考えるきっかけになった。自分はじゃあ何をしたい、何をやるって思いはじめました。何をしようかな。聴く機会があるんだということから伝えたいと思います。
10	ありがとうございました。
11	手を上げて沈黙する方法（ナチスの敬礼を思い出す）。
12	1つ1つ小さなことから協力していきたい。1個1個成功させればと思います。
13	なかなか霧島市の発展の形が具現化していない。
14	学びにもなったし、純粋に楽しかったです！
15	継続が必要な感じですね。慣れて来ると楽しさや期待、実行性を感じると思います。
16	色々な意見を聞いて卒業研究に活かしたいと思った。
17	新しい意見や、考え方に触れることができ、フレッシュな体験ができました。
18	最初の5年間の取り組みがどうだったのかが知りたい。それがないと全体の課題がわかりにくい。
19	2回目からの参加でした。
20	テーマがあらかじめ設定されていたから、アイデアを出しやすかったです。普段あまり話す機会のない色々な年代の方々と話ができ知識を深めることができました。
21	よりよい霧島市を作って下さい。子ども、孫にすばらしい霧島市を残していきましょう。
22	初めて参加させていただきました。市の将来発展のためには市民の考えを述べる機会が必要。年齢層に関係なく希望する多くの方に参加していただきたい。

事前配布資料

(1) 第1回

<p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;"><b>霧島市の “もっと元気な”みらいを考えよう</b> <b>KIRISHIMAみらいトーク</b> 事前案内</p> <p style="text-align: center;">～第1回～令和4年5月29日(日)13:30 @国分シビックセンター多目的ホール</p> <p style="text-align: center;">-1-</p>	<p style="text-align: center;"></p> <p><b>ブレインライティングの方法</b></p> <p>ブレインライティングは、個人の独自性を生かしつつ、ブレインストーミングの長所も生かすという特徴があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●1つのテーマに対し、6人ずつで、3つのアイデアを各自考え、3分以内に用紙に記入し隣に回すことを1周するまで繰り返し、6人×3アイデア×6回(1周)＝108アイデア(1人18アイデア)が生まれます。</li> <li>●さらに、手元の18アイデアから各自よいと想うアイデアに★を付けて隣に回し、1周後に★が多いアイデアを、みんなが良いと思うアイデアとして選び、発表します。(10～20アイデアに★が集まります)</li> </ul> <p style="text-align: center;">-4-</p>								
<p style="text-align: center;"></p> <p><b>はじめに</b></p> <p>ご応募いただき、ありがとうございます！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●KIRISHIMAみらいトーク第1回目は、予定通り通常開催いたします。マスク着用など、新型コロナウイルス感染予防対策の上、ご参加ください。</li> <li>●体調不良等により、やむをえず欠席する場合は、当日10:00までにこのメールへご連絡ください。</li> <li>●参加できない方もワークショップの様子をご覧いただけるように、YouTubeでライブ配信を行います。 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=OfeH94DucZw">https://www.youtube.com/watch?v=OfeH94DucZw</a></li> <li>●当日は記録、広報用に写真を撮らせていただきます。支障がある方は、事前に事務局へご連絡ください。</li> </ul> <p style="text-align: center;">-2-</p>	<p style="text-align: center;"></p> <p><b>テーマについて</b></p> <p>●全2回のテーマは、霧島市の主な課題と考えられる次の20分野。</p> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td>産業振興 産業振興 1 町 観光振興の発展、観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致</td> <td>観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致</td> <td>観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致</td> <td>観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致</td> </tr> <tr> <td>観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致</td> <td>観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致</td> <td>観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致</td> <td>観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>●これらのテーマについて、「霧島市が元気になるために必要なこと」という視点で、自由にアイデアを出してください。また、そのアイデアを実現するために、「(個人や会社、団体等の立場で)みんなができること」についてもお尋ねする予定です。</li> <li>●霧島市の概要については、統計書をご覧ください。<a href="https://www.city-kirishima.jp/jouhou/shise/toke/documents/toukeizuhyou03.pdf">https://www.city-kirishima.jp/jouhou/shise/toke/documents/toukeizuhyou03.pdf</a></li> </ul> <p style="text-align: center;">-5-</p>	産業振興 産業振興 1 町 観光振興の発展、観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致	観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致	観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致	観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致	観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致	観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致	観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致	観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致
産業振興 産業振興 1 町 観光振興の発展、観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致	観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致	観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致	観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致						
観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致	観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致	観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致	観光客誘致 観光客誘致 観光客誘致、観光客誘致、観光客誘致						
<p style="text-align: center;"></p> <p><b>KIRISHIMAみらいトークとは</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第二次霧島市総合計画後期基本計画(計画期間:令和5年度～9年度の5年間)の策定に当たり、霧島市をより元気にするためのアイデアを募るための、市民参加型ワークショップです。</li> <li>●ワークショップは全2回、どちらも約30人が参加します。</li> <li>●グループワークでは、「ブレインライティング」の手法で行います。グループごとに市の主な課題(テーマ)について、自由にアイデアを出し合い、その中から優れた・楽しいアイデアを選んで発表します。発表されたアイデアは、ポップなイメージにまとめ(グラフィックレコーディング)られます。</li> <li>●まとめられたアイデアは、後期基本計画の策定に活用します。</li> </ul> <p style="text-align: center;">-3-</p>	<p style="text-align: center;"></p> <p><b>第二次霧島市総合計画とは</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●霧島市が将来に目指すべき都市像とまちづくりの基本方針を明らかにし、その実現に向けた具体的な施策を体系的に示した計画です。</li> <li>●基本構想と基本計画からなる10年間の計画です。</li> <li>●総合的かつ計画的な市政運営を図るための最上位計画で、各分野の個別計画や施策は、この計画に即して策定され展開されます。</li> <li>●その計画に基づき、市民とともに考え、共有し、行動する協働と連携のまちづくりを進めています。</li> </ul> <div data-bbox="1121 1671 1238 1841" style="text-align: right;">  <p style="font-size: x-small;">第二次霧島市総合計画</p> </div> <p style="text-align: center;">-6-</p>								



KIRISHIMA CITY

### 政策 1 にぎわい 産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり

本府は、鹿児島県中部の緑豊かな自然に恵まれ、気候や気候が、観光や観光産業の発展に資する。また、霧島市には、霧島市が抱える課題を踏まえ、霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。

霧島市は、鹿児島県中部の緑豊かな自然に恵まれ、気候や気候が、観光や観光産業の発展に資する。また、霧島市には、霧島市が抱える課題を踏まえ、霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。

霧島市は、鹿児島県中部の緑豊かな自然に恵まれ、気候や気候が、観光や観光産業の発展に資する。また、霧島市には、霧島市が抱える課題を踏まえ、霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。

-10-

KIRISHIMA CITY

### 「基本構想」の基本理念は霧島市が「目指す都市像」を、将来像は「まちづくりの方向性」を示しています。

**基本理念**  
「世界にひらく、人と自然・歴史・文化がふれあう都市」  
霧島市の発展を促すこととする。霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。

**将来像**  
「人にやさしく、人をはくむ 一人ひとりが輝きにまわる 多機能都市」  
霧島市の発展を促すこととする。霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。

-8-

KIRISHIMA CITY

### 政策 2 暮らし ひとりあふれる 役割で暮らし続けたいまちづくり

本府は、鹿児島県中部の緑豊かな自然に恵まれ、気候や気候が、観光や観光産業の発展に資する。また、霧島市には、霧島市が抱える課題を踏まえ、霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。

霧島市は、鹿児島県中部の緑豊かな自然に恵まれ、気候や気候が、観光や観光産業の発展に資する。また、霧島市には、霧島市が抱える課題を踏まえ、霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。

霧島市は、鹿児島県中部の緑豊かな自然に恵まれ、気候や気候が、観光や観光産業の発展に資する。また、霧島市には、霧島市が抱える課題を踏まえ、霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。

-11-



KIRISHIMA CITY

### 政策 3 やさしさ 誰もが変えたいながら 生き生きと暮らせるまちづくり

本府は、鹿児島県中部の緑豊かな自然に恵まれ、気候や気候が、観光や観光産業の発展に資する。また、霧島市には、霧島市が抱える課題を踏まえ、霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。

霧島市は、鹿児島県中部の緑豊かな自然に恵まれ、気候や気候が、観光や観光産業の発展に資する。また、霧島市には、霧島市が抱える課題を踏まえ、霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。

霧島市は、鹿児島県中部の緑豊かな自然に恵まれ、気候や気候が、観光や観光産業の発展に資する。また、霧島市には、霧島市が抱える課題を踏まえ、霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。霧島市の将来像を踏まえ、霧島市の発展を促すこととする。

-12-

政策 4 はぐくみ 社会を生き抜く力と生涯を通じて学び続ける力を育むまちづくり



本市の児童生徒数は、一時的に小中学校で増加しているものの、その多くは減少傾向にあります。また、学習を取り巻く環境は、グローバルに対応した小中学校に向けた英検の検定や、不登校及び特別な配慮を要する児童生徒への対応など、ますます複雑化・多様化しています。

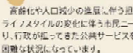
本市の児童生徒数は、一時的に小中学校で増加しているものの、その多くは減少傾向にあります。また、学習を取り巻く環境は、グローバルに対応した小中学校に向けた英検の検定や、不登校及び特別な配慮を要する児童生徒への対応など、ますます複雑化・多様化しています。

このような中、本市は、学校・家庭・地域社会・企業等がそれぞれの役割を担い、特色ある教育の推進を図るとともに、安全と安心に学ぶための教育環境の整備や目標の達成を支援する教育政策を推進します。

また、本市特有の文化の継承・創出に努めながら、誰もが生きがいを持って暮らすことにつながる学習環境を整備することにより、それぞれの学びの場を充実させ、学びの機会を拡大し、市民の多様な学習活動、及び「フレックスマ」・「シニア」活動などへの積極的な参加を促し、生涯を通じて学び続ける力を育むまちづくりに取り組んでいます。

これらを通じた学習支援、豊かな学力と体力、思いやりや心の豊かさを育む学習環境を整備することにより、市民の多様な学習活動、及び「フレックスマ」・「シニア」活動などへの積極的な参加を促し、生涯を通じて学び続ける力を育むまちづくりに取り組んでいます。

政策 5 きょうどう 市民とつくる協働と連携のまちづくり



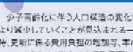
高齢化や人口減少の進展に伴う自治体や個人の価値観やライフスタイルの変化に伴って市民と行政との関係が変化し、行政が担っている役割やサービスは行政だけで提供することが困難な状況になっています。

このように、市民一人ひとりが、人権尊重の観点から多様な考え方を認め合い、地域自治体や民間企業をはじめ、企業やNPOなど、様々な主体との連携により、相互に補完し合いながら、市民生活の質を向上させることを目的として、グローバルな連携を推進し、国内外の自治体等との交流を促進し、国際的に活躍できる人材の育成を図ります。

また、重点的かつ継続的に人口減少対策として、国や県、自治体、民間企業、市民団体等が連携して取り組むことにより、市民生活の向上を図ります。

さらに、重要会議等や協議会等における広域行政の推進、企業・学識経験者・自治体等との連携による協働の推進を図ることにより、市民生活の向上を図ります。

政策 6 しんらい 信頼される行政経営によるまちづくり



少子高齢化に伴う人口減少の進展等に伴い、行政収入を担う市民の減少は増大により減額していくことが懸念されます。社会保険料や税金等の収入確保を図ることは、市民生活の向上に不可欠な要素であり、市民生活の向上に不可欠な要素です。

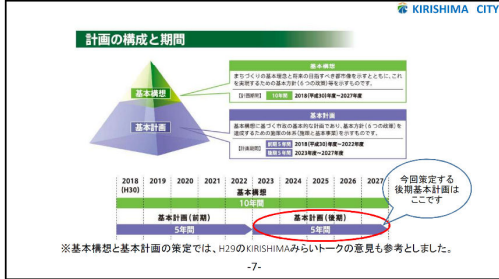
少子高齢化に伴う人口減少の進展等に伴い、行政収入を担う市民の減少は増大により減額していくことが懸念されます。社会保険料や税金等の収入確保を図ることは、市民生活の向上に不可欠な要素であり、市民生活の向上に不可欠な要素です。

このように、市民生活の向上に不可欠な要素であり、市民生活の向上に不可欠な要素です。

また、市民生活の向上に不可欠な要素であり、市民生活の向上に不可欠な要素です。

さらに、市民生活の向上に不可欠な要素であり、市民生活の向上に不可欠な要素です。





**「基本構想」の基本理念は霧島市が「目指す都市像」を、将来像は「まちづくりの方向性」を示しています。**

**1 基本理念**

「世界にひらく、人と自然・歴史・文化がふれあう都市」

- 歴史や自然環境、気候や有する気候の特性を生かすとともに、成長を促し、ICT化の進展やデジタル技術の活用からデジタル・イノベーションの創出により、「世界にひらく都市」を目指します。
- 本市の歴史や自然環境を大切に「人と自然・歴史・文化」がふれあうまちづくりを推進するため、歴史や自然環境を生かすとともに、産業・商業・観光などの多様な産業・施設を創出し、まちのみなを元気にし、暮らしや観光・観光の魅力を高めることにより、「人と自然・歴史・文化」がふれあうまちづくりを推進します。

**2 将来像**

「人にやさしく 人をはくむ 一人ひとりが輝きにぎわう 多機能都市」

多くの人々が暮らし、まじり合い、まじりあいます。人が多く、安心、安全、豊か、暮らし、人にやさしく、まじりあうまちづくりを推進します。そのために、歴史や自然環境を生かすとともに、産業・商業・観光などの多様な産業・施設を創出し、まちのみなを元気にし、暮らしや観光・観光の魅力を高めることにより、「人と自然・歴史・文化」がふれあうまちづくりを推進します。

-8-



**政策 1 にぎわい** 産業の活力がある、交流と賑わいが生まれるまちづくり

本市は、鹿児島県本土のほぼ中央部に位置し、空路や高速道路、鉄道を有する交通の要衝です。この地域特性を生かし、本市が有する多様な産業資源を生かすことにより、観光振興やまちづくり等の多様な視点から、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークを構築することにより、国内外から多くの人を招き入れ、人が活きあふまちづくりを推進します。

また、本市は、先駆的産業振興を中心とする製造業、其中産階級が代表される農林水産業、西部・赤子などの観光業、多様な多様な産業による産業の発展が期待され、これらの産業振興の推進に付随して、商材を生産し、市民が安心・安全に暮らせる環境が創出されます。そのため、創業しやすけい環境整備や市場競争力の強化を図るとともに、社会経済環境の家族やニーズに対応した企業誘致を進めることにより、働く場の確保と若者の定住の促進を図ります。

さらに、農林水産業の経営基盤を強化し、若い世代の確保・育成による強い農林水産業を育成するとともに、本市の恵まれた地域特性を生かした観光やブランド化の推進による観光産業の活性化を図るとともに、観光振興と観光産業を推進することにより、産業の活力がある、交流と賑わいが生まれるまちづくりに取り組めます。

-10-

**政策 2 くらし** みどりあふれる、快適で暮らし続けたいまちづくり

本市は、日本で最初に国立公園に指定された霧島山、霧島山系から霧島、早野郡を経て瀬田川まで流れる清く澄やかな天降川をはじめとする小川や河川、その流域に広がる田舎など、風光明媚な自然に恵まれています。これに加え、空路や高速道路、鉄道などの広域的な交通網が整備され、利便性の高い都市機能を有しています。

この地域特性を生かし、今後、交通、住宅、上下水道及び超高速道路ネットワークの整備などの生活環境の充実を図るとともに、ごみの減量化・資源化や環境美化活動などにより、環境負荷の軽減や自然環境の保全など、都市と自然との調和を築いていく環境施策を推進します。

また、誰もが安心して生活が送れるよう、災害に強いまちづくりの推進や、高齢者の生活環境の充実、交通安全対策及び健全な消費生活の推進を図り、市民一人ひとりの笑顔が溢れるまちづくりを推進し、地域で暮らし続けたいまちづくりを推進します。また、誰もが安心して生活が送れるよう、災害に強いまちづくりの推進や、高齢者の生活環境の充実、交通安全対策及び健全な消費生活の推進を図り、市民一人ひとりの笑顔が溢れるまちづくりを推進します。

-11-

**政策 3 やさしさ** 誰もが安心、安全、暮らし続けたいまちづくり

我が国では、都市化や高齢化、少子化が進み、一人暮らし世帯や高齢者のみの世帯が増加するなど、家族構成や家族の役割が大きく変換しています。2025年には、「ゆめろく」団塊の世代がすべて後期高齢者となり、団塊の世代に人口が集中し、5人以上の高齢者となる世帯が増え、高齢化に伴う介護や介護の必要性が増加すると見込まれます。

このような状況の中、様々な立場の地域住民が互いに支え合いながら、自分らしく活躍できるコミュニティを育み、公的な福祉サービスと連携した、地域における包括的な介護体制を構築していきます。

また、活力ある地域社会を築くためには、市民が生理にわりと心身に健康であることが重要であることから、ライフステージや個人の健康状態に応じた健康づくりや健康増進の取り組みを推進し、市民生活支援センターにおける健康講座などにより、健康・医療体制の充実を図ります。

さらに、後継者から乳幼児期までの切れ目のない支援により、誰もが安心して子育てが送れるよう、子育て支援策の充実を図るとともに、共働きの家庭に向けた子育て支援の充実を図ります。誰もが安心して暮らし続けたいまちづくりを推進します。

-12-



KIRISHIMA CITY

**政策 4 はぐくみ** 社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり



本市の児童生徒数は、一部の小中学校では増加しているものの、その多くは減少傾向にあります。また、学校を取り巻く環境は、グローバル化に対応した小中学校における英語の教科化や、学校教育方針の転換を要する児童生徒への対応など、ますます多様化・多様化しています。


このような中、本市は、学校・家庭・地域社会・企業等がそれぞれの役割を担い連携しながら、特色ある個性が認められるよう、様々な学習環境を整備するとともに、それぞれの世代に応じた学習機会をあらゆる機会を通じて提供します。

これらを基盤とし、豊かな学力と学力、思いやりなどの思いやりを育む基盤を築き育むとともに、市民の様々な学習活動、スポーツ・レクリエーション活動などの積極的な参加を促し、社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくりを取り組みます。

-13-

KIRISHIMA CITY

**政策 5 きょうどう** 市民とつくる協働と連携のまちづくり



高齢化や人口減少の進展に伴い、個人の労働力やライフスタイルの多様化に伴って、従来の働き方や生活スタイルにより、行政が担ってきた公共サービスは行財政だけで維持することは困難な状況となっています。

このような中、市民一人ひとりが、人権尊重の観点から様々な考え方を認め合い、地区自治公民館や自治会をはじめ、企業やNPOなど、様々な主体との連携により、相互に補完し合いながら、市民主体のまちづくりを実現するとともに、グローバル化の進展を踏まえ、国内外の多様な都市等の交流を促し相互理解を深め、国際的に活躍できる人材の育成を図ります。

国分 華人地区の市街地に人口が集中する一方で、渡辺 横川 牧野 福山地区では人口減少が進行している状況です。このような状況を踏まえ、地域を元気にする人材を育成するとともに、移住定住の促進をはじめとした次世代へのまちづくりを進めます。


また、高齢シニアは、今後、ユネスコ世界ジオパーク認定を視野に入れた自然保護、教育、防災、観光などの様々な取組を進めながら、地域の持続可能な発展を目指したシニアパーク推進を進めます。

さらに、環境共生型まちづくり推進などに向けた自治体間の連携、企業・市民連携、各種団体との積極的な連携を図るとともに、本市のブランド力を高めるシニアプロモーションと連携した取組から、国際的な取組の強化を図るとともに、市民とつくる協働と連携のまちづくりに取り組めます。

-14-

KIRISHIMA CITY

**政策 6 しんらい** 信頼される行政経営によるまちづくり



少子高齢化に伴う人口構造の変化等に伴い、市税収入をはじめとする行政運営のための資源は従来より減少していくことが見込まれる一方、社会保険料負担や一斉に更新時期を迎える公共施設の維持・更新に係る費用負担の増加等、本市を取り巻く財政状況はより厳しさを増しています。

このような中、増大する行政経費の削減に際しては、徹底的に行政改革の中で、市民一貫に即応した効果的かつ効率的な行政経営を行い、これまでの「量」の改革に加え、「質」の改革にも重点を置き、前例にとらわれない柔軟な行政経営に取り組めます。

また、行政サービスの向上と市民の行政サービスへの理解を促すため、あらゆる角度から自主財源の確保と、努め、開かれた財源の確保かつ効率的な支出に転換する仕組みを強化することにより、持続可能な財政運営を実現します。

さらに、市民の行政サービスに対する理解と信頼を高めるため、市及び議会が保有する情報を適切に市民へ提供し、情報の共有化を進めるとともに、議員一人ひとりが、市民の声を聴き、積極的な姿勢を持って市民の理解を促しているよう行政経営を推進することにより、信頼される行政経営によるまちづくりに取り組めます。

-15-